

一、總局產業課直屬機關

各鐵道局產業課は何れも總局產業課の統轄するところであるが、總局產業課直屬機關としては茲に鐵道自警村農業修練所一箇所を擧げるに止める。本所は奉天に在りて鐵道沿線に於ける農業經營方法の修練に關する事項を掌る。

二、產業課—產業部農林課合作機關

農林課との合作と謂ふ場合總局產業課との合作と見るべきか、產業課下級機關たる各鐵道局產業課との合作と見るべきかは明瞭ではないが何れにしても斯る關係に置かれて居るものに左の五箇所がある。即ち海倫農事試作場（哈爾濱）、錢家店農事試作場（齊々哈爾）、洮南農事試作場（齊々哈爾）、敦化農事試作場（吉林）及敦化水稻採種田（吉林）之であつて、括弧内に示せる各鐵道局產業課が產業部農林課より經營を委託せられたものであり其の人員は總て當該鐵道局員を以て充てられて居るが經費は總て農林課の負擔する所である。

三、各鐵道局別機關

イ、錦縣鐵道局產業課に所屬するものには、農務（係）に山城鎮觀測所、葉柏壽觀測所の二箇所があり、畜産（係）に羊圈子種畜場、女兒河種畜場の二箇所がある。又林務（係）には女兒河、連山、韓家溝、義縣、伊胡塔、凌原、東陵、赤峰以上八箇所の苗圃が所屬して居る。尙本局產業課直屬のものに興城園藝試驗場があつて以上合計十三箇所の施設が產業課の所屬機關と言ひ得る。

ロ、吉林鐵道局產業課には直屬機關土們嶺造林試驗所の外、農務科の農務（係）に五常觀測所が、畜産（係）に吉林種畜場、山城鎮種畜場が、林務（係）に吉林苗圃、五常苗圃、梅花口苗圃が各所屬して居る。合計七箇所の施設機關がある。ハ、牡丹江鐵道局產業課には農務（係）に敦化試作場と敦化採種田が、畜産（係）に牡丹江種畜場が、林務（係）に延吉

苗圃が夫々所屬し合計四箇所の施設を算する。

ニ、哈爾濱鐵道局産業課には直屬機關哈爾濱農事育成場の外農務科の農務(係)に海倫採種場、海倫試作場、綏化觀測所、北安觀測所、畜産(係)に綏化種畜場、白家種畜場、而して林務(係)に哈爾濱、三棵樹、北安の三苗圃、以上合計十箇所が所屬して居る。

ホ、齊々哈爾濱鐵道局産業課農務(係)に葛根廟採種場、洮南試作場、錢家店試作場、齊々哈爾濱觀測所が、畜産(係)に白城子種畜場、富拉爾基酸乳製造所が、林務(係)に保康、榆樹屯、白城子の三苗圃及白城子造林地、昂々溪溫室、滿洲里溫室、以上合計十二箇所の施設がある。此の外哈爾濱には林業所があるが之は鐵道總局の直屬機關であり農事施設と謂ふよりも鐵道經營上直接の附帶事業と謂つた方が適當であるかも知れない。然し本稿では之も農事施設の中に數へて置いた。

註 右の分類に於て氣象觀測所を各産業課農務科農務(係)の所屬となしたが之は農務科直屬機關であるから念のため御斷りして置く。

第四項 地域別機關

地域別機關は之を省別、鐵道線別に見ることが出来る。

一、省別に見た施設機關

イ、錦州省

本省下には興城園藝試驗場、女兒河種畜場、羊圈子種畜場、義縣、女兒河、連山、韓家溝の各苗圃の七箇所がある。

ロ、奉天省

本省下には鐵道自警村農業修練所、山城鎮觀測所、山城鎮種畜場、梅河口、赤峰、東陵各苗圃の七箇所がある。

ハ、熱河省

本省下には葉柏壽觀測所と凌源苗圃の二箇所がある。(註 十二年九月前者は後者と合併)

ニ、吉林省

本省下には敦化試作場、敦化採種田、吉林種畜場、土門嶺造林試驗所、吉林苗圃の五箇所がある。

ホ、間島省

本省下には延吉苗圃一箇所である。

ヘ、濱江省

本省下には哈爾濱農事育成場、海倫試作場、同採種圃、五常觀測所、牡丹江種畜場、綏化種畜場、哈爾濱林業所、五常、哈爾濱、三棵樹各苗圃の十箇所がある。此の外林業所所管のヤブニロー、東部の二林区がある。

ト、三江省には施設機關として數へられるものは一箇所もないが林業所關係の舍林河林区が本省下に一箇所ある。

チ、龍江省

本省下には洮南試作場、葛根廟採種田、齊々哈爾、北安の二觀測所、白城子種畜場、白家種畜場、富拉爾基酸乳製造所、北安、榆樹屯、白城子各苗圃、昂昂溪溫室の十一箇所がある。

リ、黑河省

本省には施設機關なし。

ヌ、興安北省

本省には滿洲里溫室一箇所がありその外林業所所管の海敏公司、綽爾の二林区がある。

ル、興安東省には一箇所もない。

ヲ、興安南省

本省には錢家店試作場、保康(衙門臺)苗圃、伊胡塔苗圃の三箇所がある。

ワ、興安西省には施設機關なし。

註 尙昭和十二年度より省の行政區劃に變更あり、新に牡丹江省、通化省の二省を加へるに至つたが右分類は在來の區劃に従て爲されたものである。

二、鐵道線別に見た機關

- (一) 奉吉線(四四七・四籽) | 鐵道自警村農業修練所、東陵苗圃、山城鎮種畜場、同觀測所、梅河口苗圃、吉林苗圃、吉林種畜場、以上計七箇所
- (二) 奉山線(四一九・六籽) | 鐵道自警村農業修練所、羊圈子種畜場、女兒河種畜場、同苗圃、連山苗圃、韓家溝苗圃、興城園藝試驗場、以上計七箇所
- (三) 錦承線(四三六籽) | 義縣苗圃、葉柏壽觀測所、凌源苗圃、以上計三箇所
- (四) 大鄭線(三六六・二籽) | 伊胡塔苗圃、錢家店試作場、以上計二箇所
- (五) 河北線(九一・一籽) 北票線(一七・九籽)、葉峰線(一四六・九籽) 奉皇線(二・八籽)、新義線(一) | 以上各線沿線には葉柏壽觀測所(葉峰線) 赤峰苗圃、義縣苗圃の三箇所があるのみ。
- (六) 京圖線(三二八・二籽) | 土們嶺造林試驗所、吉林種畜場、吉林苗圃、敦化採種田、同試作場、延吉苗圃の六箇所
- (七) 平梅線(一五六・一籽) | 施設機關なし
- (八) 京白線(三三三・二六籽) | 白城子種畜場、同苗圃の二箇所
- (九) 拉濱線(二二七・七籽) | 五常苗圃、同觀測所、三棵樹苗圃、哈爾濱苗圃、同農事育成場、同林業所、計六箇所
- (十) 小新線(九・一籽) | 施設機關なし
- (十一) 京濱線(二四二・〇籽) | 哈爾濱所在機關前掲三箇所

(十二) 濱綏線(五四六・四籽) | 哈爾濱所在機關前掲三箇所と牡丹江種畜場の計四箇所

(十三) 濱洲線(九三四・八籽) | 哈爾濱所在機關前掲三箇所と齊々哈爾苗圃、同觀測所、昂昂溪溫室、富拉爾基酸乳製造所、滿洲里溫室の計八箇所、外に林業所所管の綽爾、海敏公司の二林区がある。

(十四) 濱北線(三三六・一籽) | 哈爾濱前掲三箇所、綏化種畜場、同觀測所、海倫試作場、同採種圃、白家種畜場、北安觀測所、同苗圃の計十箇所

(十五) 北黑線(三〇二・九籽) | 北安觀測所一箇所

(十六) 齊北線(二二一・五籽) | 北安前掲二箇所と齊々哈爾前掲二箇所、計四箇所

(十七) 白溫線(三二一・六籽) | 白城子種畜場、同苗圃、葛根廟採種圃、同觀測所、計四箇所

(十八) 平齊線(五七一・四籽) | 齊々哈爾前掲二箇所、昂昂溪溫室、白城子前掲二箇所、洮南試作場、保康(衙門臺)苗圃、計七箇所

(十九) 訥河線(八六・八籽) | 施設機關なし

(二十) 圖佳線(三五八・七籽) | 施設機關なし

(二十一) 林齊線(一七〇・九籽) | 施設機關なし

(二十二) 朝開線(六二・三籽) | 施設機關なし

備考 以上は國鐵全部ではないが省略路線は小支線であり施設を殆んど有せざるのである。施設数は屢重複計算されて居る故に右各線別施設數の合計は施設數合計と一致せざること謂ふ迄もない。尙右路線配列は大體錦縣、吉林、哈爾濱、齊齊哈爾、牡丹江鐵道局順になされて居るが同一路線にして二鐵道局管内に分割所屬して居るのを路線籽數の表示の關係から一箇所に纏めて取扱つた

第二節 農事施設の規模

五九箇所の農事施設の各に付て其の面積、従事員、經費、事業費を示せば次表の如くである。尙本表には合計欄を缺くがそれは未報告の分もあり又經費、事業費の如く年度を異にする數字があるためで已むを得なかつた。

農事施設の種類	面積 ヘクタール	従事員 名	經費 千圓	事業費 千圓	年度	
					昭和	昭和
農事試験場	10.00	100	100	100	100	100
農事講習所	5.00	50	50	50	50	50
農事調査所	3.00	30	30	30	30	30
農事相談所	2.00	20	20	20	20	20
農事資料館	1.00	10	10	10	10	10
農事実験圃	100.00	1000	1000	1000	1000	1000
農事実習圃	50.00	500	500	500	500	500
農事講習圃	20.00	200	200	200	200	200
農事調査圃	10.00	100	100	100	100	100
農事相談圃	5.00	50	50	50	50	50
農事資料圃	2.00	20	20	20	20	20
合計	198.00	1980	1980	1980	1980	1980

第二節 農事施設の規模

五九箇所の農事施設の各に付て其の面積、従事員、經費、事業費を示せば次表の如くである。尚本表には合計欄を缺くがそれは未報告の分もあり又經費、事業費の如く年度を異にする数字があるため已むを得なかつた。

第三表 鐵道總局農事施設規模一覽表

箇 所 名	總面積 (單位積)	従 事 員				場 託 計	經費支出額 (昭和十一年 度算及至 昭和十二 年度算)				備 考
		日本 職員	日本 雇員	准備 職員	准備 雇員		建 物	機 器	工 作 物	用 地	
興城園藝試驗場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
哈爾濱農事育成場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
鐵道自警村農家修練所	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
葛根廟採種田	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
海倫採種田	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
敦化採種田	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
敦化採種田	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
海倫採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
蛟河採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
泰安採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
洮南採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
羊園子採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
女兒河採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
山城採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
吉林採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
杜丹江採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
白家採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
綏化採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
白城子採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
女兒河採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
義縣採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
連山採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
韓家溝採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
伊胡塔採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
凌源採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
東陵採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
赤峰採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
吉林採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
五常採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
梅河口採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
哈爾濱採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
北安採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
三棵樹採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
保康(衙門臺)採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
榆樹屯採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
白城子採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
延吉採種場	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
土門嶺造林試驗所	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		
黃松甸附屬試驗所	一〇	一	一	一	一	三	三	三	三		

常備人は鮮人、滿人

日本人職員 番号の内 番号は氣象職員

本苗圃従事員の配屬なし



第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

海倫試作場	昭和四年(本社により開設)	昭和十年哈爾濱鐵道局移管
海倫採種圃	同四年()	同十二年新設
洮南試作場	同四年()	同十年齊齊哈爾鐵道局移管
錢家店試作場	同九年()	同十年同
綏化氣象觀測所		同十年度新設
山城鎮氣象觀測所		同同
齊齊哈爾氣象觀測所		同同 (滿鐵齊齊哈爾事務所より移管)
五常氣象觀測所		同同 (建設局より引繼)
北安氣象觀測所		同同 ()
葛根廟氣象觀測所		同十年設置
興城氣象觀測所		同同
葉柏壽氣象觀測所		同同 (同建設局より引繼) (昭和十二年九月凌源へ移轉)
山城鎮種畜場	昭和八年五月	
羊圈子種畜場	同十年十一月	

女兒河種畜場	同十年十一月	
吉林種畜場	同十年十月	
綏化種畜場	同九年十月	
白家種畜場	同十年十一月	
白城子種畜場	(羊)昭和九年十一月 (豚)同十年十月	
牡丹江種畜場		昭和十一年五月設立の愛河種畜場を 合併し、同十二年十月新設
女兒河苗圃	民國十九年	昭和十年度増設(九陌)
連山苗圃	同二十年	
韓家溝苗圃	同十九年	
義縣苗圃	同二十年	昭和十年度増設(一陌)
伊胡塔苗圃	同十八年	
東陵苗圃	昭和十一年	
凌源苗圃	昭和十一年	
赤鋒苗圃	同十二年	

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

延吉苗圃	齊齊哈爾苗圃	白城子苗圃	洮南苗圃	洮南苗圃	保康苗圃	四平街苗圃	哈爾濱苗圃	北安苗圃	三棵樹苗圃	五常苗圃	吉林苗圃	舊站苗圃	瀋陽苗圃
昭和十年	民國二十年	昭和十年	同 同	同 同	同二十年	民國十一年	不詳	同 十年	同 同	同 十一年	昭和十年	同 二十年	民國十九年
	昭和十三年廢止と共に平齊線榆樹屯へ移轉、榆樹屯苗圃と改稱	同 同	同 同	同 十二年廢止	昭和十三年廢止豫定	昭和十二年廢止						同 同	昭和十二年廢止

第二節 農事業績

農事業績は之を獎勵事業、助成事業、直營事業、調査事業の四種別に分類して示す事が出来る。

第一項 獎勵事業

獎勵事業は、農産、畜産、林産の三部門に分けられる。

(一) 農産關係

本關係の獎勵事業は優良農産種子の配布である。

國線沿線農産物の品質を改良し商品價値を高め、商取引の圓滑を圖り農産物の出廻りを促進して鐵道收益の増大を計ると

海河口苗圃	土們嶺造林試驗所	綽爾林區	東部林區	岔林河林區	海敏公司林區	亞布洛尼林區	
昭和十二年	民國十三年(土們嶺農林試驗所)	舊北鐵經營、開設年次不詳				舊北鐵と密接なる關係の下に露人ウオロンツオフ兄弟經營	ポーランド人カワルスキー所有哈爾濱近藤公司經營代行
	昭和十年吉林鐵道局移管	昭和十年北鐵接收と同時に哈鐵移管				昭和十年北鐵接收と同時に哈鐵其の經營に参加	昭和十年哈鐵移管

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

共に沿線農家の福利を増進し鐵路愛護思想を涵養する爲愛護村を主體に昭和八年以降繼續事業として優良種子の配布を實施した。

配布種子の種類は改良大豆、優良大豆、優良小麦及水稻であり、現物等量交換を原則となし、交換に依て生ずる差額は産業助成費を以て負擔するものである。

1、各年度別配付実績概要を示せば

昭和九年度

種別	配付數量	配付面積	金額	交換差損額
改良大豆	三六、五〇 <small>畝</small>	三、九四・七 <small>畝</small>	一四、一四 <small>圓</small>	一、五〇 <small>圓</small>
優良大豆	二六、四〇	四、七四・九	一六、六〇	八、五〇
水稻	四、〇七 <small>畝</small>	四、〇七	四、三〇	二、三〇
計	五八、二二	九、六七・三	三、〇〇	一、三〇

昭和十年度

種別	配付數量	配付面積	金額	交換差損額
改良大豆	三〇、三〇 <small>畝</small>	三、一七・〇 <small>畝</small>	二、七六 <small>圓</small>	八、〇〇 <small>圓</small>
優良大豆	四三、二五	七、三三・〇	四、〇〇	一九、六〇
小麦	一、二五	二、二六・一	一、八五	八、〇〇
水稻	六、〇〇	六、〇〇	八、一〇	三、五〇
計	九六、九〇	一、二六・九	九、五七	三、一〇

昭和十一年度

種別	配付數量	配付面積	金額	交換差損額
改良大豆	三三、五〇 <small>畝</small>	三、三六・五 <small>畝</small>	三、〇五 <small>圓</small>	二、〇〇 <small>圓</small>
優良大豆	四九、七四	八、一九・四	五、七〇	六、八〇
小麦	一、五、四六	二、二六・一	一、七〇	四、一〇
水稻	一〇、四三	一〇、四三	一、四九	一、一〇
計	一、〇、一六	一、六六・九	一、八七	一、三〇

2、配付並戻入状況

昭和九年度

種別	配付數量	購入金額	戻入	
			數量	金額
水稻	四、〇七 <small>畝</small>	四、三〇 <small>圓</small>	四、〇七 <small>畝</small>	四、〇〇 <small>圓</small>
大豆	三三、〇〇	三、〇〇	三三、〇〇	三、〇〇
計	五八、二二	五、三〇	五八、二二	五、三〇

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

昭和十年度

種別	配付數量	購入金額	戻入	
			數量	金額
水 稻	六七〇石	八一七圓	六四七石	四六三圓
大 豆	七四、四七〇	七、六〇〇	七〇、一〇三	四、〇七〇
中 麥	一五、三五〇	一八、七五〇	一五、七九七	一〇、六〇〇
計	九六、九二〇	九九、五七〇	九一、四三七	六〇、六七〇

昭和十一年度

種別	配付數量	購入金額	戻入	
			數量	金額
水 稻	一〇一、四〇三石	一〇、一四四圓	四、三六六石	六、九四四圓
大 豆	八〇、二九四	八、二九〇	三〇、七三〇	七、三三〇
小 麥	一五、四八八	一七、五〇〇	七、九四四	一七、一〇〇
計	一〇三、一八五	二五、九三四	四三、〇四〇	一〇、一七八圓

(一) 畜産關係

畜産關係の獎勵事業は改良種家畜の貸付、牧草種子の配布、品評會の開催等であり、家畜の貸付は緬羊、種豚、種牛の貸付に分けられる。

イ、緬羊の貸付

緬羊の増殖は國防上極めて緊要な國策である。滿洲國政府は緬羊一千萬頭を目標として獎勵の歩を進めて居るが、現在國內の緬羊頭数は約三百萬頭にして内二百數十萬頭は興安西省に在り、更に國鐵沿線愛護村内頭数は僅々十萬頭に足りぬ現状なので、總局に於ては滿洲國の獎勵と呼應し昭和八年以降年々蒙古種牡羊を購入して之を沿線農家に貸付同時に之に日本内地及滿洲に於て生産したるメリノ種牡羊並改良種牡羊を配して其の増殖並資質の改良を圖つて居る。昭和八年以降の貸付状況を表示すれば左の如くである。

緬羊地方別實際貸付頭數表 (自昭和八年度至昭和十一年度)

地方別	貸付頭數	内		主要貸付線路名
		メリノ種	改良種	
錦縣局管内	五、六四	一、五	一、四	奉吉、奉山、大鄭、錦承、西安、葉峰
吉林局管内	三、四九五	二、八	九	奉吉、拉濱、圖佳、虎林、京圖、朝開
哈爾濱局管内	四、四七	一、〇	三	濱北、拉濱、北黑、濱綏、京濱、濱洲、松浦
齊齊哈爾局管内	七、七七	三、六	一	平齊、齊北、訥河、鄭通
計	二〇、五三三	七、九	一、八	

右貸付の爲に購入せる緬羊頭數は次表の如し。

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

綿羊年度別購入頭數表

年 度 別	蒙 古 種		メリノ種		改 良 種		雜 種		價 格
	牝	牡	牝	牡	牝	牡	牝	牡	
昭 和 八 年 度	一、五〇〇								一四三六
昭 和 九 年 度	一、八五〇		六	三三	四				三、三三
昭 和 一〇 年 度	七二五		一六	三三	九				九、七七
昭 和 一 一 年 度	九九〇		五	四〇	一五				一四、五九
計	四、〇六五		二七	一〇七	二七				二六、九五

ロ、種豚の貸付

豚は滿洲人の重要家畜にして農家は自給肥料及副業収入の目的を以て全滿至るところに飼養せられ其の數實に五百萬頭を算し、國鐵沿線愛護村全體としても約七十萬頭の多きに達して居る。然し現在全滿に普及せる在來種の多くは晩熟にして而も肉量寡く利用性に乏しい缺點を有する爲之を改良する必要がある。總局に於ては其の最捷徑且效果的と認められる雜種改良の方策を講じて居る、即ち昭和八年以來日本内地及朝鮮、滿洲に生産せられたパークシヤ種牡豚を購入し、之を沿線農家に貸付、在來種に交配せしめて之が改良並増殖を圖つて居る。昭和八年以來の貸付及購入狀況は次表の通である。

種豚地方別實際貸付頭數表(自昭和八年度至昭和十一年度)

地 方 別	貸 付 頭 數		主 要 貸 付 線 路 名
	牝	牡	
錦 縣 局 管 内		五六四	奉吉、奉山、錦承、大鄭、西安、河北、北票
吉 林 局 管 内		四四七	京圖、奉吉、朝開、拉濱、圖佳、虎林
哈 爾 濱 局 管 内		四二七	濱北、拉濱、濱州、北黑、京濱、濱綏
齊 齊 哈 爾 局 管 内		三九四	平齊、齊北、訥河、鄭通、白溫、濱洲、京白
計	一、八三二	一、八三二	

種豚年度別購入頭數表

年 度 別	種 類	購 入 頭 數		價 格
		牝	牡	
昭 和 八 年 度	パークシヤ種	一	二八	五、四四
昭 和 九 年 度	同	二四	四七	一五、八五
昭 和 一〇 年 度	同	八三	三二	三、一六
昭 和 一 一 年 度	同	三〇	六八	三、四三
計		一〇八	一七三	

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

計	一七	三二七	三二七	一七四	五九
---	----	-----	-----	-----	----

ハ、畜牛の貸付

牛は滿洲に於ける重要家畜であるが滿洲に於ける牛は事變後著しく減少し、京圖、奉吉、圖佳、朝開、奉山各線の比較的水田多く農耕上特に牛を必要とする地方の現状を見ても其の數甚しく不足を來し就中間島地方の如きは農家一戸に對し僅に、〇・四九頭に過ぎぬ狀況である。總局に於ては昭和十年度より之等の地方農家に畜牛を貸付することとし同年度に於て朝鮮牛一六〇頭を購入し京圖、朝開、圖佳各線愛護村農家に貸付けた。次で昭和十一年度は別表の如く各種の畜牛を購入配貸付し之が培養増殖を企畫した。

畜牛年度別購入並貸付頭數表 (自昭和十年度至昭和十一年度)

年度別	種類	貸付頭數		價格	貸付地方
		牝	牡		
昭和十一年度	朝鮮牛	一六〇	—	一六、一二二	吉林局
	乳牛	—	—	—	哈爾濱局
	短角牛	—	—	—	齊齊哈爾局
	朝鮮牛	—	—	—	齊齊哈爾局
	蒙古牛	—	—	—	齊齊哈爾局
	ホルスタイン種	—	—	—	齊齊哈爾局
	シンメンタール種	—	—	—	齊齊哈爾局
計		七〇七	一一	七一八	七四、七五七

ニ、牧草種子の配付

各種家畜の増殖改良獎勵上其の經濟飼料として又將來鐵道貨物としての出廻を計る目的を以て昭和十年度より各線愛護村及自警村農家に牧草ルーサンの栽培普及を獎勵し、次表の如く其の種子を廣く配付する一方栽培方法、利用方法等に就き指導を加へて居る。

地方別種子配付數量表

年度別	地方別	配付數量(疋)		備考
		グリム種	在來種	
昭和十一年度	錦縣局	三三〇	一三〇〇	グリム種 計 一、四四〇 在來種 計 三、五二〇 計 四、九六〇 一〇年度購入價格 六、六六五圓 在來種 計 一六、四四五 一一年度購入價格 一七、七六〇圓
	吉林局	三〇〇	六〇〇	
	哈爾濱局	五〇〇	四〇〇	
	齊齊哈爾局	三〇〇	一、〇〇〇	
	總局	—	—	
	齊齊哈爾局	—	—	
	齊齊哈爾局	—	—	
昭和十一年度	錦縣局	三三〇	一三〇〇	グリム種 計 一、四四〇 在來種 計 三、五二〇 計 四、九六〇 一〇年度購入價格 六、六六五圓 在來種 計 一六、四四五 一一年度購入價格 一七、七六〇圓
	吉林局	三〇〇	六〇〇	
	哈爾濱局	五〇〇	四〇〇	
	齊齊哈爾局	三〇〇	一、〇〇〇	
	總局	—	—	
	齊齊哈爾局	—	—	
	齊齊哈爾局	—	—	

ホ、品評會の開催

古來天賦の畜産國である滿洲の農民は又良く家畜の飼養に馴れ畜力をよく利用し廣面積の農耕を営み肉其の他の畜産物

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

を日常生活に利用しつゝあるは産業獎勵上洵に喜ぶべき現象である。而し滿洲の農民は之を改良して一層其の利益を増進せむとするの念に甚だしいので之が獎勵上最困難を伴つて居る。故に貸付家畜の改良増殖牧草の栽培等に就て最意を注ぎ常時指導して居るが之等貸付家畜を一場に集め其の飼養、管理、蕃殖の成績等を實物に就て比較評示し其の成績良好なものを表彰することは其の効果顯著なるを以て昭和九年より各鐵道局管内主要箇所にて貸付家畜の品評會を開催して居る。其の概要を表示すれば次の如くである。

品評會開催表

年 度 別	開 催 地	主なる出品物	備 考
昭和八年度			
昭和九年度	山城鎮、白城子、錦縣	羊、豚	
昭和一〇年度	錦縣、山城鎮、吉林、敦化、綏化、呼蘭、海倫、鄭家屯、白城子、齊齊哈爾	羊、豚	農作物と聯合主催す
昭和一一年度	錦縣、撫順、遼源、永吉、九臺、磐石、額穆、五常、敦化、綏化、齊齊哈爾、白城子	羊、豚	農産物と聯合主催す

(三) 林産關係

林産關係の獎勵事業としては、獎勵造林、共同造林、受託造林の三者を擧げる事が出来る。
イ、獎勵造林

國鐵沿線の林業を助長し或は各種の保安林を設け、鐵道の保護一般産業の發達を計る爲沿線住民に苗木を無償或は減價にて配付し又は植樹、手入の技術的指導を行ふことに依て造林を獎勵するもので昭和九年度より實施して居る。其の實

施は次の如くである。

昭和九年度

鐵 道 局	樹 種	本 數	金 額
奉 天 鐵 道 局	ドロノキ、ヤナギ、ヤチダモネクンドカヘテ 外一七種	三二四八五 _本	八五五 _圓
新 京 鐵 道 局	ドロノキ、ヤナギ、ヤチダモ、ネクンドカヘテ 外一二種	八二二五〇	三七〇
哈 爾 濱 鐵 道 局	ドロノキ、ヤナギ、ヤチダモ、ネクンドカヘテ	五七、七三〇	二五九
洮 南 鐵 道 局	ドロノキ、ヤナギ、ヤチダモ、ネクンドカヘテ 外六種	一〇五、八二五	八四一
合 計		二七八、二九〇	一、三二五

昭和十年度

鐵 道 局	樹 種	本 數	金 額
奉 天 鐵 道 局	テウセンカラマツ シベリヤハンノキ ク ホウテンクロマツ	一五〇〇〇〇 _本 一〇一、〇〇〇 二〇、〇〇〇 一六〇、〇〇〇 四三二、〇〇〇	一、八〇〇 _圓 八〇八 二二〇 一、四四〇 四、二六八
計			

昭和十一年			
鐵道局	樹種	本數	金額
吉林鐵道局	テウセンカラマツ 計	三〇、〇〇〇 九、〇〇〇 三九、〇〇〇	三六〇 七二 四三二
哈爾濱鐵道局	テウセンカラマツ シベリヤハンノキ ノニ 計	二〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 七、〇〇〇 一〇、〇〇〇	二四〇 八〇 四九〇 八一〇
齊齊哈爾鐵道局	ドロノキ	三三、〇〇〇	五一二
合計		六〇、二〇〇	六〇三二
奉天鐵道局	テウセンカラマツ マンシウクロマツ イタチハギ 計	一、四五〇、〇〇〇 ^本 一〇〇、〇〇〇 二五〇、〇〇〇 一、八〇〇、〇〇〇	一五、九五〇 ^圓 八〇〇 一、二五〇 一八〇〇〇
合計		四五〇、〇〇〇	三、八二五

吉林鐵道局	イタチハギ 計	五〇、〇〇〇 五〇、〇〇〇	二五〇 四〇七五
齊齊哈爾鐵道局	テウセンカラマツ ドロノキ 計	一四〇、〇〇〇 一〇〇、〇〇〇 二四〇、〇〇〇	一、五四〇 一、三〇〇 二、八四〇
哈爾濱鐵道局	テウセンカラマツ ドロノキ 其他一種 計	一五八、〇〇〇 一、八五〇 三、〇六〇 一六二、九一〇	一、七三八 二四 一、三三五 三、〇八七
合計		二七〇、二九一〇	二八、〇〇二

ロ、共同造林

造林獎勵の一手段として沿線土地所有者に土地を提供せしめ造林、撫育の作業は一切局の直營として行ひ收穫は兩者に於て適當に分收する共同經營であつて昭和十年に奉天鐵道局管内錦承線義縣に於て縣有地約一二〇陌に奉天鐵道局長と義縣々長との共同契約の下に實行することとなり約五三〇、〇〇〇本のテウセンカラマツ、シベリヤハンノキ、ホウテ
ンクロマツを植栽した。

ハ、受託造林

造林獎勵の一手段として沿線土地所有者の委託に依り局に於て有償にて造林經營を行ふもので昭和八年に洮南の壽兆桐

林業公司より其の經營の委託を受け同年度より作業を開始し面積約一五〇陌の内一五陌、七五、〇〇〇本を植栽せる外既植地の撫育作業を爲した。

第二項 助成事業

茲に助成事業を獎勵事業と區分したのに付ては別に會計規約上の根據があつての事ではなく一重に農事業績自體の性質に基づく便宜上の分類に依るのである。何となれば前項の獎勵事業も夫れに要する事業費は孰れも産業助成費に依り賄はれるものであつて其の意味を以てすれば助成事業ならざる獎勵事業は有り得ないからである。例へば前項に於ける農産關係を見るに優良種子の配布は現物等量交換を原則と爲し交換に依て生ずる不足は之を産業助成費を以て負擔する事になつて居り當該費目にて賄はれた金額は昭和九年度の交換差損額一二、三二〇圓、同十年度三九、一九〇圓、同十一年度一二、五三〇圓以上三箇年合計六四、〇三〇圓に達して居る。畜産關係に於ける貸付種畜の購入費亦同斷なる事謂ふ迄もない。

然し本項に助成事業と爲すは原則として特定の農業團體其他に對し夫れが行ふ事業を助成する意味を以てする事業費の補助を爲せるものである。勿論如上の定義には例外が多々あり多少の混淆は免れ得ない。

農、畜産別に記せば斯る意味の助成事業は次の通である。

一、農産關係

農産關係の助成事業は(イ)農業團體其他に對する助成(ロ)農産品評會の開催(ハ)委託採種田圃補助(ニ)委託試作助成(ホ)國線沿線産業視察團の組織に分けられる。

(イ) 農業團體其他に對する助成

滿洲棉花協會、滿洲農業團體中央會、富民協會(夏期大學)、佳木斯移民(北滿開墾事業助成)、天照園移民に對し以下の如き助成を爲した。

1. 滿洲棉花協會

棉花は錦縣鐵道局管内に於て廣大な栽培面積を有し國家的重要事業として棉花協會に依り之が栽培普及を遂行中である。其の成否は直接的、間接的に鐵道收益に及ぼす影響の大なるに鑑み本事業の健全な發達を助成する目的を以て昭和八年度より補助金合計五萬七千圓(昭和八年一萬圓、昭和九年一萬圓、昭和十年一萬二千圓、昭和十一年二萬五千圓)を交付した。

2. 滿洲農業團體中央會

本會の事業内容たる農民生産物の販賣、農用品の購買斡旋並農業經營資金の低利融通斡旋農業關係圖書及市況通報並會報發行等は直接國鐵沿線農業經營者を利する處甚大なるに付助成の目的にて補助金合計三千五百圓(昭和十年一千圓、昭和十一年二千五百圓)を交付した。

3. 富民協會(夏期大學)

昭和十、十一年七月中旬富民協會主催の下に公主嶺農事試驗場並同熊岳城分場に於て開催せられた夏期大學は滿洲に於ける農業指導者及農業經營者に對する農業知識の涵養と農業技術の向上進歩とを圖り以て農村經濟の甦生に甚大なる影響を與へむとするもので總局は之に對し十年度に於て補助金七〇〇圓、十一年度に於て五九三圓を交付した。

4. 佳木斯移民(北滿開墾事業助成)

北滿に廣大なる面積を有する未墾地の開發は國策上又は鐵道運營上最急務を要する事項であるから昭和十年度松花江下流に入植せる拓務省移民團に對しトラクター二臺を貸與し開墾助成を圖つた。

5. 天照園移民

天照園移民は昭和八年關東軍の斡旋に依り通遼縣錢家店に入植せるものであるが此の種移民團の成否が邦人移民の將

來に影響する所大なるを考慮し殊に本移民團助成は資源僅少なりと觀察されて居る、大鄭線沿線開發上惹いては鐵道運營上好結果を齎らすものとして之が助成の目的を以て十一年度補助金三、三〇〇圓を交付した。

(ロ) 農產品評會

各種農産物の品位を改善し增收を圖る目的を以て局主催若は縣共同主催の農產品評會を開催した。

(ハ) 委託採種田圃補助

國鐵沿線農家に優良種子を配付したことは前述の通であるが更に本事業の圓滑なる遂行を期する爲錦縣、吉林、哈爾濱、牡丹江、齊齊哈爾各鐵道局管内へ委託採種田圃を設置し配付種子の採種を爲した。

左に委託經營者の資格、栽培契約内容、委託種子の種類栽培面積及耕作手當を詳説する。

1. 委託採種田圃經營者の資格

- (1) 各鐵道局愛護村民にして相當面積の農耕地を所有するもの
- (2) 農事に熱心なる篤農家にして鐵道局の諸施設に理解を有するもの
- (3) 成るべく文字を解するもの
- (4) 最寄驛より十滿里以内に居住するものにして水害の憂なき地方に農耕地を所有するもの
- (5) 比較的生計豊なるもの

2. 委託栽培の契約内容

- (1) 採種用種子は局に於て之を手配し現物同量交換にして委託農家に引渡すものとする
- (2) 委託採種田圃經營者には左記の通耕作手當を交付するものとする

採種田圃 一陌當國幣 二〇・〇〇圓

採種圃 一陌當國幣 八・〇〇圓

- (3) 生産種子は總て市價を以て買上げるものとする
但し水害其の他に依り特に品質不良なるものは此の限に在らず
- (4) 委託採種田圃生産種子は局農務科長の承認を得るに非ざれば他に賣却するを得ず
- (5) 委託採種田圃生産種子買収の際は局の作成せる見本精選せしめたる後之を引取るものとする
- (6) 栽培法は在來農法に依り採種法、管理、脱穀、調製方法に關しては各局農務科員之を指導するものとする
- (7) 委託採種田圃經營者は生産種子の生産報告を各鐵道局農務科長宛提出するものとする
- (8) 委託採種田圃經營者は委託田圃に關する限り絶對的に鐵道局農務科員の命に従ふものとする
萬一命に違反せるものは委託栽培不履行者と看做して耕作手當は交付せず

昭和十年 度

種別	設置面積	耕作手當	種別	設置面積	耕作手當
改良大豆	一〇〇 ^陌	八〇〇・〇〇 ^圓	水	三二 ^年	六四〇・〇〇 ^圓
優良大豆	四五七	三、六五六・〇〇	計	五八九	五、〇九六・〇〇

(ニ) 委託試作

- 1. 大豆、高粱、小麥、陸稻、煙草、陸地棉其の他の委託試作
奉山沿線地帶農業開發の實際的指針を得る爲高山子農場に委託試作補助金九年度二、〇〇〇圓十年度四、二〇〇圓十

一年度二、〇〇〇圓を支給し各種作物の試作を爲さしめると共に煙草耕作組合設立の前提として煙草乾燥調製の助成を行ったが、十一年度を以てその助成を打切つた。

2. 亞麻委託試作

滿洲に於ける亞麻栽培事業が將來極めて有望なるに鑑み是に關する實際的資料を得る爲沿線農家に亞麻の委託試作を爲さしめた。

試作面積及補助額

年度	項目	委託面積	耕作手當
昭和一〇年度		五九〇 <small>畝</small>	三三八 <small>圓</small>
昭和一一年度		六二	一三〇・〇〇
計		六五二	四六八・〇〇

昭和十一年度

種別	設置面積	耕作手當	種別	設置面積	耕作手當
改良大豆	二〇〇 <small>畝</small>	一、六〇〇・〇〇	稻	三八 <small>畝</small>	七六〇・〇〇
優良大豆	四〇〇	三、一〇〇・〇〇	計	六三八	五、五六〇・〇〇

註 亞麻の試作手當としては昭和十年度末は之が栽培収益が本試験地方に於ける同面積の大豆平均収益よりも少きものに對して其の差額を以て之に當てた

(ホ) 國線沿線産業視察團

國線沿線農事開發策の確立は最重要な事項であるに鑑み昭和九年度に於て在滿農業關係の權威者を以て國線産業視察團を組織し視察の結果に基き意見の開陳を爲すべく座談會を開催し多大の効果を收めたので昭和十年度は新京に於て滿洲農學會開催の好機を利用し同學會出席の日本内地農業關係の専門家を主體とし實業部總局共同主催にて第二回國線産業視察團を編成し前年度同様座談會を開催した。

次に産業助成費一覽表を掲げ農産關係助成事業業績綜覽に資する。

各年度別助成一覽表

種別	昭和八年	昭和九年	昭和一〇年	昭和一一年	合計
種苗配付	10,000	11,110	3,616	11,110	43,836
滿洲棉花協會		10,000	11,000	11,000	42,000
滿洲農業團體中央會			1,000	11,000	12,000
富民協會			700	11,000	11,700
東亞勸業				11,000	11,000
北滿移民(佳木斯)				11,000	11,000
天照園移民				11,000	11,000
北滿大豆立毛品評會				11,000	11,000
農畜產品評會				11,000	11,000
委託採種田圃				11,000	11,000
合計					17,400

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

委託試作	1,000	4,100	1,700	1,100
國線産業視察團	1,263	1,406	6,484	3,568
其の他	10,000	8,993	6,484	6,484
計	12,263	14,399	14,668	11,152

二、畜産關係

畜産關係助成事業は前項に述べた如き種畜の購入貸付事業、ルーサン種子配付事業の外次の如きものがある。

- (イ) 國線沿線愛護付配貸付家畜に對し獸疫豫防治療注射の實施
- (ロ) ルーサン種子配付者に之が壓搾器を購入貸與
- (ハ) 蕃殖の目的に使用する國線輸送家畜の運賃補助
- (ニ) 畜産業發達に資する講習、講話會の經費補助

第三項 直營事業

直營事業には總局産業課に直屬するもの、各鐵道局産業課に直屬するもの、乃至は鐵道局自身直營するもの等種々分けられるが夫れに就ては既に前章に於て述べたので省略し、本項では農、畜、林各産業部門に就き、試驗場、試作場、採種田圃、種畜場、苗圃等に就き其の概要を記するに止める。勿論右に就ても關係項節に於て觸れるところがあつたのであるが、事業内容に付説明不十分な箇所もあつたので茲に詳記する次第である。

(一) 農産關係

イ、興城園藝試驗場

當場は民國十六年(昭和六年)舊京奉鐵路局の一事業として創設せられた興城温泉果樹試驗場の後身であり、昭和八年總

局創設と同時に其の所管となつた。

本試驗場に於ては爾來繼續して苹果其他果樹及蔬菜類の各種試驗を行つて居るが將來は總局本來の使命と合致せしめる爲、奉山線沿線に普及増殖せしむべき果樹幼苗の養成を爲すと共に、蔬菜の採種普及を行ひ傍ら之等の各種試驗を繼續實施する豫定である。

土地利用面積は果樹試驗地二六・一陌、蔬菜試驗地五陌、建物敷地其他五陌、計三六・一陌を算し、従事員職員九名、雇員一名、備員一三名、計二三名に達する。

事業費は昭和十二年度豫算として一〇、四〇〇圓、同じく經費は五三、七五五圓(内人件費二八、二五四圓、物件費二二、四五六圓、雜費三、〇四五圓)にして、營業收入は同じく二、九三九圓(内農産物收入一、五三七圓、苗木收入一、三二〇圓、雜收入八二圓)を見積られて居る。

ロ、哈爾濱農事成場

北鐵より接收せる唯一の農事試驗研究機關であつて接收と共に滿洲國實業部は總局より本試驗場用地の一部竝建物等を借受農事に關する各種試驗を開始し哈爾濱鐵道局は同年度より優良種苗の育成竝増殖及一部試作を行ひ現今に至り昭和十一年農事成場と改稱す。土地利用面積は、採種用地(大豆、小麥)一五陌、果樹試驗用地一〇陌、農作物試驗用地一五陌、其他建物敷地四陌、計四四陌に達し、従事員數職員九名、雇員一名、備員一七名、計二七名を算する。事業費(昭和十二年度豫算)一、四八五圓、同じく經費六九、二四〇圓(内人件費三三、三四六圓、物件費三三、九四一圓、雜費一、九五三圓)に達し、營業收入は一六、六九二圓(農作物收入六、〇八〇圓、苗木收入一、七四一圓、家畜收入六、九五九圓、雜收入一、九一二圓)を見積られて居る。

ハ、鐵道自警村農業修練所

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

昭和十一年六月設置されたもので、本所に於ては直接農業者と接觸し農業の實際的指導に當るべき農事指導員及堅實なる邦人農業移民の養成を行ふもので現在所員生徒一體となり精神的、技術的修練を行ひつゝある。従事員は職員三名、傭員四名、囑託一名、計八名で、其の下に修練生三七名で收容されて居る。

土地利用面積は、農作物作付一〇〇陌、蔬菜作付一一・三五陌、家畜飼料作付三四陌、建物敷地其他四・六五陌、計一五〇陌に達し事業費（昭和十二年豫算）九五、二七四圓、營業支出同じく四七、一三八圓（人件費一九、五一五・五〇圓、物件費一六、九〇七・五〇圓、雜費一〇、七一五圓）を算する。之に對し、營業収入は、昭和十二年度豫算として、二〇、五八九・六五圓（農作收入一七、七二一・六五圓、畜産收入二、八六八圓）を見積られて居る。

ニ、葛根廟採種場

平齊線、白溫線地方に於ける水稻品種を改良し、併せて水田經營を勃興せしむる目的にて昭和十年度設立された。

土地利用面積は、農作物採種用地八・五陌、試驗用地〇・五附、建物敷地其他一・五陌、計一一陌である。

ホ、海倫試作場

本試験場は當地方沿線農事開發の爲、昭和四年本社に依り創立せられたものであつて、試作業務は翌五年より開始せられたが、當時は支那官憲の壓迫甚しく、本格的に業務を施行するに至つたのは昭和七年度以降と看做し得べく、現在の圃場と事務所は同年十月の開設に係る。昭和十年路局職制改正當時本社より路局に移管せられて今日に至つて居るが、負擔科目は尙本社地方經費種苗費として本社より支出せられて居る。業務は本社時代のものを受継するものであつて次の如きものがある。

- (一) 農産物各種試験
- (二) 氣象觀測

(三) 農産資源増殖法の研究

(四) 地方農事統計及調査

(五) 農家經濟調査

(六) 地方農事改良指導

右の内(一)の農作物各種試験の内容は左の如くである。

1. 品種試験（大豆、粟、玉蜀黍、小麥、大麥、燕麥、馬鈴薯、亞麻、ホツブ、牧草）
2. 播種法、播種期試験（亞麻）
3. 見本圃（甜菜、大麻、青麻）
4. 育種圃（大豆、小麥）
5. 豊凶、經濟試験（大豆、粟、小麥、蘇子）
6. 海北鎮水稻委託栽培試験

ヘ、海倫採種場

濱北、北黑線地方に於ける農産物の品質改善並増殖を行ひ鐵道貨物の增收を計る目的を以て昭和十二年設立され、沿線愛護村農家に配付する優良種子採種を行ひ將來は附近農家の農事改善を圖らむとして居る。

土地利用面積は農耕地三〇陌、其他五陌、建物敷地其他一陌、計三六陌に達し、従事員數職員一名、雇員五名、傭員五名、計十一名を數へる。又事業費は昭和十一年度一七、一七七圓で、經費は十二年度豫算として一五、八八〇圓、（内人件費九、〇八〇圓、物件費六、四〇〇圓、雜費四〇〇圓）が計上されて居り、右に對する収入は同じく、一、九八五圓（内農産物收入一、九四八圓、雜收入三七圓）が見積られて居る。

ト、敦化採種田

本採種田は京圖線沿線農事開發の爲昭和六年本社の手にて創設せられたが昭和十年路局職制改正に依り吉林鐵道局に移管せられた。將來は原種田たる意味の水稻採種田として採種を行ひ傍ら栽培、各種試験をも行はしめる方針である。チ、敦化試作場

昭和四年二月本社に依り創設されたが、試作業務は翌五年度より開始せられた。併し支那官憲の壓迫或は匪害等に禍せられて業務停滯を餘儀なくされ、昭和六年滿洲事變後漸く現在の圃場及事務所を得本格的に業務を施行し得るに至つたものである。昭和十年路局職制改正と同時に前記採種田と共に吉林鐵道局に移管せられたが、經費負擔科目は本社産業部の支出するところである。

(一) 農作物各種試験

(二) 種豚種付

(三) 芝草委託栽培試験

(四) 地方農業事情調査

(五) 地方農事指導

右の内(一)の農作物各種試験の内容は左の如くである。

1. 品種試験(大豆、粟、大麥、小麥、玉蜀黍、煙草、大麻、ホツブ、葱類、馬鈴薯)

2. ケナフ風土感應試験

3. 豊凶考昭試験(大豆、小麥、粟)

4. 經濟試験(大豆)

5 見本園(大豆、小豆、綠豆、高粱、黍、稗、牧草、蓖麻、青麻、亞麻、蘇子、向日葵、甜菜、里芋、黃花茶、ウキキョウ)

リ、蛟河採種場

京圖、拉濱兩線農産物の改良増殖を計る目的を以て昭和十二年設置され、昭和十三年度より業務開始の豫定である。土地利用面積は畑地四〇陌、水田二十陌、建物敷地其他七陌、計六七陌に達し、従事員數は職員一名、雇員一名、備員五名、常備五名、計一二名を算する。

事業費は昭和十二年度豫算として八、六四〇圓(工作物)、經費は同じく一五、五五七圓(内人件費一一、六二四圓、物件費三、七八三圓、雜費一五〇圓)を計上されて居る。

ヌ、泰安採種場

齊北線沿線農家に優良種子を配布し、併せて耕作法の指導獎勵を爲さんが爲に昭和十二年本採種場を設置し、昭和十三年度より事業開始の豫定である。

土地利用面積は四〇陌、従事員は職員一名、雇員一名、備員三名、常備四名であり、事業費は、昭和十二年度豫算として一四、四四三圓、十三年度豫算として四四、六五〇圓、計五九、〇九三圓が既に計上されて居り、經費は昭和十三年度豫算として一八、七二六圓、夫れに對する収入が同じく五、四八〇圓が見積られて居る。

ル、氣象觀測所

氣象觀測は農業經營上不可欠なるに鑑み左記の箇所に設置して實施してゐる。

綏化、山城鎮、齊齊哈爾、五常、北安、興城、葉柏壽

(二) 畜産關係

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

畜産關係の直營事業には、種畜場、富拉爾基酸乳製造所、哈爾濱農事成場がある。右の内、哈爾濱農事成場は農産關係の直營事業に於ても、觸れたが本場は農務(係)、畜産(係)の共管になつて居り、畜産關係の事業内容は農産關係では述べなかつたので本節で詳説したい。

イ、種畜場

種羊及種豚の貸付事業に伴ひ種羊及種豚の局内生産を必要とし尙之等種畜生産機關に技術員を配置し其の業務の傍ら愛護村農家に對する畜産各般の指導に従事せしむることは現下の滿洲に於ける農村の實狀に於て最適切なる方法であるから次表の如く各鐵道局管内主要箇所種畜場を設置し之を直營して居る。

設置箇所	名稱	主要業務	規		模		開設年月
			用地面積(m ²)	種畜數	從業員		
奉吉線—山城鎮	山城鎮種畜場	種豚の生産	四一、〇〇〇	二四頭	六	昭和八年五月	
奉吉線—羊園子	羊園子種畜場	種羊の生産	五二〇、四四五	三三五	四	同 一〇年十一月	
奉山線—女兒河	女兒河種畜場	種豚の生産	七二、〇〇〇	二四	二	同 一〇年十一月	
京圖線—吉林	吉林種畜場	同	三四五二二	二四	八	同 一〇年一〇月	
濱北線—綏化	綏化種畜場	同	一〇八、七六八	二四	六	同 九年一〇月	
濱北線—白家	白家種畜場	種羊の生産	一一一、八四五八〇	三三五	七	同 一〇年十一月	

種羊、種豚の生産	種羊、種豚の生産	種羊、種豚の生産	種羊、種豚の生産
平齊線—白城子	白城子種畜場	二九〇、〇〇〇	三三五
濱綏線—牡丹江	牡丹江種畜場	一	三三五

ロ、富拉爾基酸乳製造所

富拉爾基は土地高燥にして結核病患者の療養に適すとの見地から舊北鐵は此の地に富拉爾基療養院を設立し、之に供給すへきクミス(酸馬乳)、ケフィール(酸牛乳)を製造する爲、酸乳製造所を設置したのである。

クミスは結核治療に特效ある滋養強壯劑で、而も非常に人の嗜好慾を喚ぶ清涼飲料なので、北鐵時代には遠く上海、香港、阪神地方より來集する者が多數あつた。尙哈爾濱に牧馬場を有し搾乳用馬匹は總て同場に繋養し、毎年五月より十月頃迄哺乳中の牝馬及駒を富拉爾基に移轉し、搾乳してクミスを製造して居た。乳牛は總て富拉爾基にて飼養し、夏はケフィールを製してクミスを飲用し得ない者に給し、冬期はバターを製造して居る。北鐵接收後も引續き本事業を經營することに決定し、哈爾濱鐵道局産業課の管理に屬したが、昭和十年十一月職制改正に伴ひ齊齋哈爾濱鐵道局産業課に移管され、翌十一年三月哈爾濱牧馬場を廢止し富拉爾基酸乳製造所に合併せられた。

ハ、哈爾濱農事成場

舊北鐵は大正十一年に農事試験研究並指導機關として哈爾濱香坊に之を設立し、農産物試験、農業經營、林産、畜産、昆蟲、化學、氣象の各科に分ち、用地七十六陌餘、從業員五十名、年經費二萬七千圓—三萬七千餘圓を以て經營し來つたものである。昭和十年三月二十三日舊北鐵より接收した當時は舊名稱哈爾濱農事試験場を襲名したが、翌十一年六月哈爾濱農事成場と改稱した。本場は育種圃及種畜場の業務を營み、畜産關係事業としては乳牛及種鶏の蕃殖育成事業

第一部 鐵道總局農事施設及農事業績

を行つて居る。

業 務

- 一、種乳牛並種鶏の蕃殖及育成
- 二、種乳牛及種鶏、種卵配付
- 三、畜産の指導獎勵
- 四、家畜疾病の豫防防遏
- 五、乳製品製造

乳牛の部

- 一、位 置 哈爾濱香坊（香坊站東方約二軒）

二、用地面積

總 面 積

三五二、九〇二・一平方米

内 譯

建 物 敷 地

九一五・一平方米

運 動 場

一、九八七・〇

牧草栽培地

三五〇、〇〇〇・〇

三、従事員

日人職員一名、傭員一名、滿人傭員三名、常役方一名、露人職員二名
四、乳牛擊養頭數

種 類	基礎 種 畜		生 産 種 畜		計
	牝	牡	牝	牡	
ホルスタイン種	一〇	二	一	二	一四
シンメンタール種	一九	一	四	五	二九
短 角 種	一	二	二	二	七
計	三〇	五	六	九	五〇

五、乳牛貸付頭數 二二頭

種 鶏 の 部

- 一、位 置 哈爾濱新安埠民安街

- 二、用地面積 五四、六三六平方米

- 三、従 事 員 日人傭員一名、滿人常役方一名

二、獸 醫 段

舊北鐵機關であるが接收後も獸疫豫防上滿洲の特殊事情並滿洲就中北滿に於ける重要物産たる家畜及畜産物の保護、増殖を目的とし哈爾濱、密門、海拉爾、滿洲里各站に於て鐵道運送家畜並畜産物に對し政府に代り當分の間、鐵道にて検査、検査を施行することゝなつた。本機關は十一年九月九日都合に依り閉鎖せられたが、昭和十年四月一日より同十一

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

年三月末日迄一箇年間に於ける檢疫検査數量を左に掲げて置く。

檢疫數量	品名		
	牛	馬	羊
哈爾濱獸醫段	一〇、六九七	一、二三二	一、七二二
海拉爾獸醫段	七、七二七	二、二一九	一、八五八
計	一八、四一四	三、四五二	二〇、二六〇
			五、〇一五
			四、一八八
			九、二〇三

尙右四獸醫段配屬獸醫は合計六名であつた。

(三) 林産關係

林産關係の直營事業には苗圃、直營造林、土們嶺造林試驗所、林區經營、鐵道造園の五種類がある。

各種の造林、造園用の苗木を生産する爲に施設するもので昭和十一年度末現在の苗圃は次の如くである。尙苗圃に付ては前章の施設の箇所で一應述べたが、昭和十二年以降に於ける苗圃の新設乃至は廢止計畫と共に再記する次第である。

局名	名稱	新舊増設別	開設年度	總面積	備考
錦縣鐵道局	女兒河苗圃	増設	民國一九年	二六・一	昭和一〇年度九陌増設
	連山苗圃	舊	同 二〇年	二・四	
	韓家溝苗圃	舊	同 一九年	三・四	
	義縣苗圃	増設	同 二〇年	七・〇	昭和一〇年度一陌増設
	伊胡塔苗圃	舊	同 一八年	四・一	

局名	名稱	新舊増設別	開設年度	總面積	備考
吉林鐵道局	瀋陽苗圃	舊	同 一九年	三・九	昭和二年廢止
	舊站苗圃	舊	同 二〇年	五・四	昭和二年廢止
	東陵苗圃	新	昭和一一年	五・〇	
	凌源苗圃	新	同	一・〇	
	計			一一・三	
哈爾濱鐵道局	吉林苗圃	新	昭和一〇年	七・七	
	五常苗圃	新	同 一一年	一五・〇	
	海河口苗圃	新	同 一二年	二二・七	
	計			三二・四	
	三樹苗圃	新	昭和一一年	五・〇	
齊齊哈爾鐵道局	四平街苗圃	舊	民國一一年	二・九	昭和二年度廢止
	保康苗圃	舊	同 二〇年	一五・五	
	洮南苗圃	舊	同	二・九	昭和二年度廢止
	洮南苗圃	舊	同	一四・三	昭和二年度廢止
	白城子苗圃	新	昭和一〇年	一・〇	昭和一二年度檢樹屯移轉同苗圃と改稱
齊齊哈爾苗圃	舊	民國二〇年	二二・五		
計			六九・一		

牡丹江鐵道局	延吉苗圃新設	昭和一〇年	八・一
合計	二一	二四七・二	

鐵道の委託經營と共に接收した苗圃は相互の間に何等の連絡もなく且之を箇々に見るも地形、面積、作業方法等幼稚極まるもので殆ど其の體を成さず其の儘無條件で使用し得るものなく其の養成苗木の如きも徒に數のみ多く造林の用に供し得るものがない爲其の處分にさへ困窮する状態であつた。茲に於て全滿洲に於ける各種の造林用苗木を最廉價に且圓滑に供給する爲苗圃相互間に密接な連絡を保ち又配給作業等に於て無駄を省く爲國鐵全線に亘つて統制ある苗圃を設置すべく所謂苗圃統制案なるものが立案されたが其の後北鐵接收、新線の建設等諸情勢の變化に從て此の案の内容も多少の變更を見結局左記の通の計畫となつた。此の表は勿論當初の苗圃統制案を基礎として居るが尙産業開發十箇年計畫に伴ふ造林其の他の爲の苗木の需給關係をも加味して居る。

苗圃新增設計畫表

年 度	線 名	苗 圃 名	面 積	備 考
昭和一〇年	奉山線	女兒河苗圃	九〇	増設
	平齊線	白城子苗圃	一・〇	新設
	濱北線	吉林苗圃	七〇	同
	京圖線	延吉苗圃	八・一	同
	錦承線	凌源苗圃	一四〇	新設
	濱北線	三棵樹苗圃	五〇	同
	拉濱線	五常苗圃	八〇	同
	奉吉線	東陵苗圃	五〇	同
	葉峰線	赤峰苗圃	一〇〇	新設
	奉吉線	梅河口苗圃	一〇〇	同
	平齊線	榆樹屯苗圃	一〇〇	現在の齊齊哈爾苗圃を移轉
昭和一三年	綏芬線	牡江苗圃	一〇〇	新設
	同 綏芬線	小芬苗圃	一〇〇	同
	同 綏芬線	密山苗圃	一〇〇	同
	同 綏芬線	海拉爾苗圃	一〇〇	同
	同 綏芬線	新立屯苗圃	一〇〇	同
	同 綏芬線	前郭旗苗圃	五〇	同
	同 綏芬線	大平川苗圃	五〇	同
	同 綏芬線	黑河苗圃	六五〇	同
合計			四三・八	増設

年 度	線 名	苗 圃 名	面 積	備 考
昭和一一年	錦承線	凌源苗圃	一四〇	新設
	濱北線	三棵樹苗圃	五〇	同
	拉濱線	五常苗圃	八〇	同
	奉吉線	東陵苗圃	五〇	同
	葉峰線	赤峰苗圃	一〇〇	新設
	奉吉線	梅河口苗圃	一〇〇	同
	平齊線	榆樹屯苗圃	一〇〇	現在の齊齊哈爾苗圃を移轉
昭和一二年	綏芬線	牡江苗圃	一〇〇	新設
	同 綏芬線	小芬苗圃	一〇〇	同
	同 綏芬線	密山苗圃	一〇〇	同
	同 綏芬線	海拉爾苗圃	一〇〇	同
	同 綏芬線	新立屯苗圃	一〇〇	同
	同 綏芬線	前郭旗苗圃	五〇	同
	同 綏芬線	大平川苗圃	五〇	同
	同 綏芬線	黑河苗圃	六五〇	同
合計			四三・八	増設

昭和 一四年	昭和 一五年	昭和 一六年	昭和 一七年
大 鄭 錦 大 計 鄭 佳 承 鄭 線 線 線 線 彰 勃 平 通 武 利 泉 遼 四 苗 苗 苗 苗 圃 圃 圃 圃	海 倫 平 通 計 魯 東 札 海 線 線 線 線 北 京 關 倫 苗 城 屯 苗 圃 圃 圃 圃	京 濱 京 濱 計 吉 承 圖 濱 線 線 線 線 清 朝 敦 陶 原 陽 化 頤 四 苗 苗 苗 苗 圃 圃 圃 圃	白 溫 王 爺 廟 苗圃 計 濟 泰 來 苗圃 線 線 線 線 一 面 坡 苗圃 圃 圃 圃 圃
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
新設	新設	新設	新設

昭和 一八年	昭和 一九年	合 計
奉 山 大 虎 山 苗圃 計 齊 北 泰 安 苗圃 線 線 線 線 梅 輯 通 化 三 苗圃 圃 圃 圃 圃	呼 齊 鄭 家 屯 苗圃 計 濟 泰 來 苗圃 線 線 線 線 一 面 坡 苗圃 圃 圃 圃 圃	三〇〇〇
新設	新設	新設

舊苗圃の廢止豫定

年 度	廢 止 苗 圃 名
昭和 一二年	瀋陽苗圃、舊站苗圃、洮南苗圃、洮南苗圃、四平街苗圃
昭和 一三年	保康苗圃、齊齊哈爾苗圃
昭和 一四年	伊胡塔苗圃、連山苗圃、韓家溝苗圃

ロ、直營造林
將來一般用材、鐵道用材、薪炭材の生産、鐵道保護、沿線綠化を圖る爲直營にて行ふ造林であつて現在の造林地は左の如くである。

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

一、錦縣鐵道局管内

(1) 壺盧島造林地

約九〇〇陌を昭和十年度より五箇年計畫で造林し將來興城をも含めた風致計畫の一部として特殊な風致林となすを目的とするものである。

昭和十年度

樹種	面積	積	本	數	經費
ホウテンクロマツ、ドロノキ、イタヤカヘテ、コノテガシハクヌギ其他		一〇〇 <small>陌</small>		五二、四〇〇 <small>本</small>	一、〇六二 <small>圓</small>

昭和十一年度

樹種	面積	積	本	數	經費
テウセンカラマツ、ホウテンクロマツ、クリ、シベリヤハンノキ、トネリコ、其他		八〇 <small>陌</small>		三五、〇〇〇 <small>本</small>	五、〇〇〇 <small>圓</small>

(2) 奉山線、錦承線鐵道保護林

昭和十一年に鐵道保護の爲奉山線、錦承線に造林したものである。

箇所	樹種	面積	積	本	數	經費
前	衝	マンシウクロマツ、テウセンカラマツ	三〇 <small>陌</small>		三〇〇〇 <small>本</small>	三六〇 <small>圓</small>

高	朝	義	河	合
嶺	陽	縣	陽	計
マンシウクロマツ、テウセンカラマツ	イタチハギ、シベリヤハンノキ	イタチハギ、マンシウクロマツ	イタチハギ、マンシウクロマツ、テウセンカラマツ	
三・八	二・五	三・五	三・五	一六・三
三八、〇〇〇	二五、〇〇〇	三三、〇〇〇	三五、〇〇〇	一六一、〇〇〇
五五〇	四七〇	三五〇	三七〇	二、一〇〇

二、齊々哈爾鐵道局管内

(1) 豆海、江橋間堤防保護林

豆海、江橋間に在る嫩江堤防を保護し以て水害による列車被害を防がむとするもので堤防延長二十米を昭和十一年度より三箇年計畫で造林の豫定である。

昭和十一年度はヤナギ、イタチハギを十二萬本、延長六百米を植栽し之に要した經費は約四千圓である。

(2) 白城子造林地

舊政權時代平齊線白城子に齊克鐵路局が模範林の意味で經營して居たものを引繼だもて面積二十一陌約八萬本のドロノキの造林地である。

三、吉林鐵道局管内

(1) 興隆山林地

京圖線興隆山に位置し面積〇・三陌の天然林である。

(2) 飲馬河林地

京圖線飲馬河に位置し面積約三・三陌の天然林である。

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

四、牡丹江鐵道局管内

(1) 圖佳線鐵道保護林

昭和十一年度に圖佳線一四八杆—一四九杆間に鐵道保護の目的でハギ、イタチハギ、一六、〇〇〇本を植栽之に要した經費は二二四圓である。

(2) 朝開線鐵道保護林

昭和十一年度に朝開線東盛湧—八道河子間に鐵道保護の目的でハギ、イタチハギ三〇、〇〇〇本を植栽之に要した經費は約三〇〇圓である。

ハ、土們嶺造林試驗所

之は舊政權時代(民國十三年)に吉敦、吉長鐵路局が農林試驗所として京圖線土們嶺に設置し爾來粗放な經營を行つて居たものを昭和十年吉林鐵道局の所管に屬せしめ造林關係の試驗を爲すべく改革し同年四月一日造林試驗所として開所したのであつて現在養苗用試驗林約百陌を有して居る。

ニ、林區經營

北鐵接收と共に附屬三林區をも哈爾濱鐵道局にて經營することとなり尙此の外に舊北鐵と密接な關係を有して居た海敏公司の經營にも哈鐵の参加を見るに至つた又東部線カワルスキト林區の經營に當つて居た近藤林業公司在十年事業の中止を命ぜられ軍及滿洲國の依頼に依り右ヤプロニヤ林區を哈鐵にて經營することとなり何れも昭和十年度より事業を開始して居る。

今各林區の概況を示せば次の如くである。

一、哈鐵林區

(イ) 綽爾林區 濱洲線博克圖站南方約五〇杆附近

面積 約八〇、〇〇〇陌

蓄積 約二五、〇〇〇、〇〇〇石 大部分落葉松

(ロ) 東部林區 濱綏線石頭河子附近

面積 約九〇、〇〇〇陌

蓄積 約二六、〇〇〇、〇〇〇石

(ハ) 岔林河林區 松花江下流三江省鳳山縣

面積 約三〇、〇〇〇陌

蓄積 約一五、〇〇〇、〇〇〇石

二、關係林區

(イ) 海敏公司林區 濱洲線牙克石的南北

面積 一、四〇〇、〇〇〇陌

蓄積 一七〇、〇〇〇、〇〇〇石 落葉松林

ロシア人ウオンツオフ兄弟及哈鐵にて經營し哈鐵より理事一名會計主任一名を派遣して居る。

(ロ) 亞布洛尼林區 濱綏線亞布洛尼站北方

面積 約二七〇、〇〇〇陌

蓄積 約三七、〇〇〇、〇〇〇石

元來ホーランド國籍カワルスキー所有的林區であるが之が經營は哈爾濱近藤公司在代行して居たもので之を滿洲國

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

に於て昭和十年度限り經營を委託し立木の拂下を許可したものである。
其の實施成績は次の如くである。(出材高)

昭和十年度

林區	枕木	原木	木	薪	電柱	計
東部林区區	100,000 ^木		50,000 ^石	1,000 ^{クイ}	1,000 ^木	100,000 ^石
綽爾林区區	100,000					100,000
海敏公司林区區	100,000				11,000	100,000
亞布洛尼林区區	100,000		6,000			100,000
計	400,000		56,000		11,000	400,000

最初の事業の爲非常な困難を嘗めたが大體に於て豫定數量の出材を見一方木材市價の高騰と相俟て相當な成功を収めた。

昭和十一年度

林區	枕木	原木	薪	坑木	電柱	計
東部林区區	30,000 ^木	40,000 ^石	5,000 ^{クイ}	11,000 ^石		100,000 ^石
綽爾林区區	32,000		4,000	20,000	6,000	22,000
海敏公司林区區	40,000					40,000
亞布洛尼林区區	8,000		1,600	5,100	1,000	14,700
計	110,000		11,600	36,100	7,000	164,700

ホ、鐵道造園

驛構内を美化し旅客、従事員に慰安を與ふる爲の鐵道造園の一助として昭和九年より各站に草花種子を配付して居る。之が配付數は左の如くである。

年 度	配 付 數
昭和九年	四、三六五 ^袋
昭和十年	一〇、〇〇〇
昭和十一年	一〇、〇〇〇

第四項 調査事業

調査事業を農、畜、林産別に記せば以下の如くである。
尙水産副業兩關係をも追記する。

(一) 農産關係

イ、作柄調査

農産物の豊凶は滿洲經濟界並國線鐵道運營上に重大な關係を有するを以て本調査主旨に基き總局も滿洲農産物收穫豫想調査聯合會に参加し三回に亘り奉天線地方並奉吉線地方の共同調査を實施した。

ロ、北滿農村經濟調査

窮境にある全滿農家を救済し其の經濟生活に潤ひを與ふる目的を以て其の基本となるべき農村經濟調査を産業部と共同にて昭和十年度より實施して居る。

ハ、國線開發十年計畫

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

國線經營の現状は沿線の産業開發を一日も忽に出来ない状態であつて之が可及的速かなる打開對策の一案として昭和十年度に於て國線開發十年計畫案を作成した。

其の内容の概略を示せば次の如くである。

1. 農事施設の擴充
2. 優良種苗配付及病蟲豫防驅除實施の擴大
3. 未耕地開墾
4. 副業其の他の助成

ニ、呼蘭河上中流地方調査

昭和十一年度滿洲國と共同にて左記調査を爲し其の調査地域は呼蘭河本流上中流地方で概ね濱北線以東綏化縣の一部慶城、鐵驪及綏稜縣の一部に亘つて居る而して本調査は將來耕地として開發利用せらるべき未耕地及土地改良の必要ある既耕地に付其の分布、所在面積及利用改善の方法等を調査し統制ある農地の利用、河水の合理的運用等に關する基礎的方針を樹立するのが其の目的である。

(一) 畜産關係

イ、畜産資源出廻豫想調査

昭和十一年度以降十箇年間に於ける國線出廻貨物數量豫想を爲す爲に國線調査會が組織せられ畜産分科會に於て畜産部門の調査を爲すこととなり昭和十年五月中旬より著手し九月末完了した。

ロ、國線開發十箇年計畫

國線の開發は産業の發達を計るを以て最捷路とし畜産に於ても總局獨自の見地より昭和十年十一月中旬國線開發十箇年

計畫案作成に著手し年度末に至つて略完成した。而て從來此の種計畫案は鐵路愛護村のみを對照としたが本計畫では其の背後地全部を包含して居る。

ハ、酸乳に關する調査

昭和十年七月北大教授半澤農學博士の來滿を機とし同氏に委嘱して富拉爾基酸乳製造所に於て製造中のクミスに付其の使用及細菌製造方法に對する基本調査を行つた。

ニ、滿洲畜産視察團

滿洲に於ける畜産の改良、増殖並利用加工等に對する日本側關係者の認識を高め此の方面に對する日本側の投資及事業的進出を慫慂する目的を以て滿洲國政府並滿鐵の共同主催にて昭和十一年九月八日より十月二日迄滿洲西部に於ける各地の畜産狀況を視察した。内地側の参加者は約三十名であつた。

(二) 林産關係

イ、調査

國線調査會(林産分科會)國線に於ける今後十箇年間の出貨豫想調査

ロ、計畫

一、産業開發十箇年計畫

將來に於ける鐵道貨物の増加を計る爲沿線産業の開發計畫中林業關係の立案に當つて居る。

二、東陵造園計畫

三、鐵道保護林計畫……三十箇年計畫を立案中

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

農、畜、林産關係調査事業は以上の如くであるが、此の外本稿に觸れるところなかつた水産關係の事業がある。而して當事業は未だ調査事業の範圍を出でない爲、本項に追記することにした。

(四) 水産關係

從來關東州を除く滿洲には水産方面に何等の施設機關なく漁業は單に徵稅の對象として存するが如き有様であつた爲に産業上何等據るべき基礎資料もなく亦漁業實態の調査も産業としての開發計畫も試みられたことはなかつた。

滿洲國建國以來滿鐵は此の點に注目し昭和九年水産關係技術者を置き滿洲國臨時産業調査局と協力各河川湖沼の漁業實態調査各重要都市水産物需給並製造加工狀況調査等を爲し之等資料に基き鐵道沿線水産資源開發利用を圖つて居る。

A、調査計畫

1. 水産物の鐵道輸送數量想定

國線調査水産分科會に於て北滿淡水漁業、黃勃海漁業水産物輸移出入狀況並消費狀況を調査し將來の水産物輸送數量の想定を爲す。

2. 沿線資源並水産物需給狀況實地調査

將來の水産施設並助成事業計畫の基礎とすべき漁業實態養魚適地並重要都市水産物需給調査と之等關係試驗研究を爲す。

イ、奉山沿線養魚適地調査

奉山、河北沿線に散在する湖沼河川にして養魚に利用しうべきものに付現地調査を爲し更に營口農村に於て稻田養鯉試驗を行ひ、將來養魚思想の普及を計れば農家副業として有利なるものとならう。

ロ、哈爾濱を中心とする松花江漁業調査

松花江本流の漁業實態及哈爾濱に於ける水産物需給狀況製造加工狀況等を調査

ハ、遼河水産業實態調査

遼河の主要部分たる遼河下流及蒲河に於ける漁業實態調査

ニ、巴林附近河川探勝調査

北滿に於ける景勝の地にして遊園地或は避暑地として有望なる巴林附近河川狀況並棲息魚族蛙鱉類に付調査

ホ、活魚輸送試験

鐵道部貨物課にて行ひたる嫩江産淡水魚の江橋大連間活魚輸送試験に参加技術的援助を爲す

ヘ、嫩江下流冬期漁業調査

冬期淡水魚の主産地たる嫩江下流江橋大賚間の冬期漁業實態並廻輸送狀況調査

ト、新京水産物需給調査

國都新京に於ける水産物消費狀況、水産物配給並貯藏機關等調査

チ、鏡泊湖漁業狀況調査

鏡泊湖に於ける漁業の概況及鏡泊學園に於ける之が製造加工狀況調査

3. 國線開發十箇年計畫

將來水産計畫の参考とすべく國線開發十箇年計畫を左記二項に基き作成せり

イ、水産施設計畫

ロ、右施設並産業助成に依る開發豫想

(五) 副業關係

1. 錦縣漬物加工法 (昭和十年七月)

當地の小菜(漬物)は所謂名産として國の内外に其の名を博し一般人士より珍品として専ら推賞されて居る名物である之が原料製造法及容器と包装等を詳細に調査し尙改良方法も記述したものである。

2. 大豆粕に依る醬油の製造に就て

滿洲に於ける油房工業は年々不振に陥つて居る、之が救済策として丸粕を肥料として使用するもの外家畜の飼料に使用する研究又はアルコール浸出法に依つて得る抽出粕を食用に利用する等の研究が行はれて居る。此の外醬油醸造原料に大豆代用として丸粕を使用せむとする研究も行はれて居る際之等の醸造法を調査したものである。

3. 藥用人蔘に關する調査 (昭和十一年九月)

藥用人蔘は古來東洋に於ける不老長生の靈藥として珍重せられ之を繞つて幾多の悲喜劇鬭争の繰返されて來たことは普く人口に膾炙せられた處であつて近時醫學界に於ても人蔘の眞價に付盛に研究討議せられ世界的貴重醫藥品として各國に其の需要を喚起せむとしつゝある際之が原産地として渤海以來鹿茸、眞球と共に國家の重要資源であつた滿洲人蔘に關する一般を細大洩さず調査したものである。

4. 各自警村副業に關する調査 (昭和十一年十二月)

本調査は將來自警村に對する副業指針である

5. 滿洲國產主要加工木材調査 (昭和十一年十二月)

滿洲の森林地區の主要樹種を始め木材の工業的用途或は建具用木材及彫刻用木材等を細大洩さず調べ尙ホビヤース式玩具薄板製造、楡樹皮細工等を調査したものである。

尙副業關係業績に付ては第五項を参照されたい。

第五項 農村厚生及移民事業

以上は總局産業課産業關係機關乃至各鐵道局産業課所管の農事施設及農事業績の綜觀であるが、この外、總局の農事施設並農事業績として看做さる可きものが多々存する。

その(一)は、農産物取引改善に關する産業課商工(係)及各鐵道局産業課殖産科商工(係)所管の助成事業であり、その(二)は、同じく總局産業課副業(係)、各局産業課殖産科副業(係)所管の副業助成事業であり、その(三)は、鐵道愛護村設定事業であり(本事業は鐵道總局直屬事業であるが、農業經營其他産業施設に關するものは産業課、從て又各局産業課、農務、殖産兩科の協力の下に實施されてゐる)、その(四)は鐵道自警村移民事業である(同右)。その外右の(四)に關係を有すると同時に農業關係事業に密接な關係を有するところの土地經營事業がある。

本事業は、産業課土地(係)の、從て又各鐵道局産業課殖産科土地(係)の所管するところであるが、本項にては、右の(一)から(四)迄を一括して農村厚生及移民事業となし各説明を與へ、土地經營は第六項に譲る。

(一) 農産物取引改善助成事業

イ、北滿大豆の品位改善獎勵事業

北滿大豆の品位を改善し商品價値を高め其の出廻を促進すると共に沿線農家の福利を増進する爲昭和九年度より繼續事業として優良大豆種子の配布、農事指導員の設置、立毛品評會の開催等を爲せることに付ては既述の如くであるが、その外、齊北線及濱北線出廻大豆混保合格品中の一等品及二等品に對し夫々等級に應じ獎勵金並賞金を交付し著々其の成果を收めつゝある。

ロ、穀物精選施設

齊北線及濱北線出廻の主要輸出穀物たる大豆、蘇子及小麻子の品位向上の目的を以て、泰安、克山、綏化及海倫の四箇

所に穀物精選機を配置し農民及粮棧をして之を利用せしめて来たが之が爲農民は漸く穀物精選の必要性を認識しつつある。

ハ、農家協同組合の設置奨励

農家生産物の販賣方法、農具、生活用品の購買方法並金融の如何は農家經濟に影響する處極めて大なるが、滿洲に於ける農民は一般に無自覺、無統制にして其の經濟活動は他の業者に牛耳られ甚しく不振の状態に在り之の是正には相互扶助、協同一致の精神に基づく協同組合を結成し農家自體をして強力なる自主的經濟活動を爲さしめる必要がある。

斯かる見地に基き鐵道愛護村農家組合の結成を奨励普及しつつあり昭和十一年十一月綏化、克山の二箇所に組合を結成し差當り金融の疏通、穀物の共同精選並共同販賣を行はしめつつあるが、漸次他の愛護村にもその結成を奨励する豫定である。

(二) 副業奨励事業

昭和十年十一月に各鐵道局に副業(係)が設置せられたが設置以來日淺きこと及副業關係業務は滿洲に於ては創造的のものであつた爲昭和十一年度に於ては基礎調査並極めて普遍的の助成を爲したに止り根本方針樹立の準備時代を脱することを得なかつた。

然し既に著手以來一年を経過し各局に於ける地方的特色も調査され試験的助成の効果も稍明瞭になつたので一方地方的特色ある副業の助成に専念すると共に他面局従事員自警村員一般愛護村員に對する副業奨励の目標も明になり次年度よりは業務の形態を整備し最效果的のものに指導奨励を集中する計畫を樹立した。

1、紡毛(ホームズパン)奨励

羊毛加工业が農家の副業として有利なるに鑑み之が奨励の爲齊々哈爾管内四平街愛護村婦人團體、羊毛加工組合に紡毛

器具二〇臺價格三三〇圓(單價一六圓五〇錢)を助成すると共に自六月十六日至七月十五日の一箇月間(實際講習日數二三日)愛護村婦女子(十四歳—二十歳)二〇名を撰抜して紡毛講習會(經費一八〇圓)を開催して豫期以上の成績を収め引續き操業實施中である。

記

助成金額

紡毛器具 二〇臺 單價 一六・五〇圓 價格 三三〇圓也

講習會費用説明

項目	品名	稱呼	數量	單價	金額	備考
原料	石炭	毛氈	一	1000	1000	
消耗品	木炭	俵	一	160	160	
同	石炭	同	一	160	160	
同	曹達	同	六	0.15	0.90	
同	アンモニア水	瓶	一〇	0.20	2.00	
同	綿糸	総	一〇	0.05	0.50	
同	調糸	本	一〇	0.15	1.50	
浦修費	針金	尺	一〇	0.10	1.00	
同	ヤットコ	打	三	0.40	1.20	
人件費	助手	人	三	600	1800	

項目	數量	單價	金額	摘要
桑條根	三五、〇〇〇本	〇・〇一八	六三〇・〇〇	
イタチハギ苗	二二、〇〇〇	〇・〇〇五	一、一〇〇・〇〇	
雜費			一七〇・〇〇	
計			九〇〇・〇〇	

錦縣鐵道局は昨年からの獎勵に著手したが今後益必要の機運に在るに付果樹籠製造用の桑條一〇、〇〇〇本左記經費を以て愛護村に栽植せしめた。

記

(一) 所要經費 二〇〇圓也

5. 自警村農産加工講習會

副業に依り農閑期餘剩力を生産化して經濟の緩和、勞力分配の調節を圖るは自警村經營上必須喫緊事と認め本年度之が獎勵の一階梯として自四月四日至四月十日一週間第一回農産加工講習會を黒山頭自警村に、昭和十年度入村自警村、六箇村より各村二名づつ選拔の上招集し左記經費を以て開催した。先づ醬油、味噌の醸造方法を傳習して其の自給自足を促すと共に將來販賣品の醸造に迄到達せしめむとするものである。目下各自警村で醸造中であるが其の成績は良好である。

記

講習會所要經費

一六三・五〇圓也

内 譯

項目	品名	員數	單價	金額	摘要
講習生旅費	麵	一〇〇名	一〇〇	一〇、〇〇〇	
講習用具費	棒狀寒暖計	二本	一五	三〇	
同	乾濕計	一本	三〇〇	三〇〇	
同	大豆蒸釜	一箇	二二〇	二二〇	
同	小麥炒平釜	一箇	六〇〇	六〇〇	
同	カマ	一箇	一五〇〇	一五〇〇	
同	マド			一〇〇〇	
計	費			一六三・五〇	

註 右諸經費總局愛路科負擔。

昭和十一年(第二期)入村自警村の自給自足の一階梯として自三月十日至三月二十一日(十二日間)醬油、味噌の醸造講習會を左記經費で開催した。

記

一、講習會場所

自警村農業修練所

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

二、講習生

所屬	箇所	員數	所屬	箇所	員數
吉林局	柴崗自警村	二名	哈爾濱局	雙城堡自警村	二名
同	蚊河自警村	三名	同	安達自警村	二名
同	小城自警村	三名	同	龍鎮自警村	三名
牡丹江局	山市自警村	三名			

三、所要經費

八二圓也

6. 醬油釀造講習會

哈局管内の愛護村民冬期間の副業獎勵を目的とし左記愛護村に於て釀造及木工講習會を開催した。

記

一、講習種目及場所

線別	站名	村名	講習種目	期	間
濱綏線	平家	山二道河子	木工	自二月一九日至三月一〇日	
京濱線	蔡家	溝蔡家	木工	自二月二二日至三月八日	
濱北線	呼蘭	魏家窩堡	造	自二月三日至三月一日	
拉濱線	牛家	柯家窩堡	木工	自二月一五日至二月二〇日	
同	安家	長壽屯	木工	自二月一七日至三月二八日	

二、所要經費

二七二圓也(但し哈爾濱鐵道局警務處負擔)

7. 花百合試作

復縣產花百合は最近同地方に發見されたもので花蕾純白大形、香氣深く米國輸出向の各條件を具へ農家副業栽培品として將來性あるものと認め興城園藝試驗場に種根の繁殖生産方を依頼した。

記

- 一、種類 類 復縣產花百合種根
- 二、數量 量 八・五疋
- 三、價格 格 八圓九三錢
- 四、購入先 瓦房店地方事務所に依頼復縣より購入
- 8. 紙製バナマ帽子製造講習會

局員及愛護村民家庭副業として紙製バナマ帽子の製造講習會を左記經費に依り奉天鐵道局管内皇姑屯に於て自七月二十五日至八月二十四日一箇月間開催した。講習生は滿人局員及愛護村婦女子八五名にして先づ最簡單なるバナマ製造法より習得せしめ漸次高級の煙草入、スリツバ、ハンドバック等に及ぶこととした。目下自宅に於て製作中である。

記

講習會所要費	100.00圓
イ、講師手當	一日 一圓五〇錢 三〇日 四五圓
ロ、器代	一臺 一圓五〇錢 三〇組 四五圓

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

ハ、雜費

一〇〇圓

合計

一〇〇圓

9. 家庭手藝講習會

愛護村民及滿人局員家族婦女子の有閑を利用し滿洲の特色ある土産品を製造する目的で家庭手藝講習會を左記經費で齊々哈爾鐵道局管内四平街（自七月二十四日至七月三十日）及齊々哈爾（自八月三日至八月九日）の二箇所で開催各三〇名宛計六〇名に刺繡ペンテックス等の製造を傳習し引續き之が製作の獎勵及販路の斡旋をして居る

記

助成經費

二三八圓也

内譯

項目	員數	單價	金額	備考
講師手當	一	四日	一四〇〇圓	
會場費	一	四日	二八〇〇	
消耗品			七〇〇〇	
合計			二三八〇〇	

10. 高粱箒製造講習會

高粱箒の材料である等高粱の種子を奉天鐵道局管内章黨模範愛護村に配付して栽培させ秋收後冬季間の副業として箒製造の指導講習會を左記經費にて開催し其の結果良好の成績を収めた仍て次年度には一層指導獎勵する方針である。

講習會經費内譯

項目	數	單價	金額	備考
講師手當	一	五日	六〇〇〇	
賞品代	一	二點	四〇〇〇	
賞品代	二	四點	六〇〇〇	
賞品代	三	一〇點	一〇〇〇〇	
講習材料代			二五〇〇	
雜費			一五〇〇	
合計			二二〇〇〇	

11. 副業養蜂獎勵

副業養蜂獎勵の階梯として警務段員家庭を中心に漸次養蜂事業を普及する目的の下に各警務段より推選した貸付希望者に七月二十八日より三日間奉天鐵道自警村農業修練所に於て養蜂取扱に關する實地指導講習を行ひ八月に種蜂及用具類を貸付した。其の後成績良好で第一回第二回の採蜜を行った箇所がある。尙哈爾濱鐵道局に助成金を配付して從來の飼育者に對する獎勵指導並蜜の販賣斡旋に努めてゐる。

記

一、養蜂講習會經費

一〇〇圓也

講師は滿洲に於ける斯業の實地經驗者たる安奉線鳳凰城種蜂場主高海臺嶺氏を招聘し講習生は警務段員借受者十二名及

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

聽講生の自警村員六名計一八名に受講した。

經費内譯

講師手当 往復五日間 @100.00 500.00
 會場費 300.00
 雜費 200.00
 計 1000.00

二、貸付蜂群數及用具

種蜂 (一箇所)二群宛 一五箇所 三〇群 @25.00 750.00
 用具類 一箇所 一組宛 一五箇所 一五組 @30.00 450.00
 計 1,200.00

備考

イ 貸付用具類内譯 (一組分)

品名	數	量	金額	備考
巢框仕切板餌養器	一	組	340.00	
隔王板	一	箇	65.00	
巢礎	一	磅	45.00	
分離器	一	箇	65.00	
二重濾器	一	箇	80.00	

ロ 種蜂貸付箇所

種	貸付	用具	備考
奉天局 金嶺寺	二	群	組
奉天局 朝陽	二	群	組
奉天局 葉柏	二	群	組
奉天局 山城	二	群	組
奉天局 煙筒	二	群	組
奉天局 敦陽	二	群	組
奉天局 朝陽	二	群	組
奉天局 五陽	二	群	組
奉天局 哈爾濱	二	群	組
計	三〇	群	組

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

哈爾濱局	綏化	北安	昂溪	白城子	大王廟	齊齊哈爾局
二	二	六	二	二	二	八
群	群	群	群	群	群	群
一	一	三	一	一	一	四
組	組	組	組	組	組	組

計一五箇所 種蜂三〇群(愛河種畜場生産イタリアン種七五〇圓)
用具類 一五組(四五〇圓)

三、養蜂助成

哈爾濱鐵道局管内養蜂組合助成費 一五〇圓

同管内生産物販賣斡旋所 五〇圓

計 二〇〇圓

12. 局員副業用綿羊貸付

國策たる綿羊飼育獎勵に當り先づ僻地居住の局員家族の副業として總局産業課畜産貸付規定に従ひ綿羊を貸付飼育せしめむとし、各鐵道局管内一〇五頭づつ(牡一、牝二〇の五組)計四二〇頭總局産業課より割當を得目下飼育中である。

13. 山葡萄採集獎勵及醸造法指導

吉林管内の山野に無限自生する山葡萄の採集を獎勵し尙醸造其他加工に關する研究に依り製品の向上を圖る目的を以て之が講習會を開催した。

現在山葡萄酒は仕込中であるが其の成績如何に依りては次年度は積極的に獎勵する方針である。

記

講習會助成經費 三〇〇圓也

内 譯

講師費用 一二日 @一〇圓 一二〇圓

醸造用具 一式 一五〇圓

罐詰機 一箇 三〇圓

計 三〇〇圓

14. 家兔飼育獎勵

家兔獎勵の爲に哈爾濱鐵路局從事員副業養兔組合に十八頭(雄二頭、雌十六頭)を左記經費を以て貸與し繁殖の上愛護村及自警村に實費配付を行ひて斯業の獎勵を計る爲目下飼育中である。

記

助成經費 二五二圓也

内 譯

種兔十八頭 @五圓 九〇圓

飼育箱五四箇 @三圓 一六二圓

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

計 二五二圓

15. 自警村生産野菜漬物指導

昭和十年入村自警村副業として自家生産の越瓜の奈良漬及白菜の鹽漬の製造法を巡回指導し之が所要酒粕類を購入斡旋した。

記

自警村 五箇所

酒粕購入斡旋高 一、七四〇貫

價 格 五六五・五〇圓

瓜の漬込數量 八七〇貫

奈良漬製品の販賣金額 二、六一〇・〇〇圓也

16. 薬加工獎勵

錦縣、吉林各鐵道局管内の薬加工獎勵の階梯として鮮人民會に製叭器を貸付し漸次他の薬加工品に及ぼす方針である。

記

錦縣鐵道局 製叭機 二〇臺 @五圓 一〇〇圓

吉林鐵道局 製叭機 二〇臺 @五圓 一〇〇圓

17. 干瓢栽培の獎勵

空地に干瓢を栽植し生食用又は加工用とする爲之等を獎勵するは一つは閑地並餘剩勞力を利用して農家經濟に潤色を與へ一つは沿線副業の發展を目的とする好個の農家副業と信じ左記經費を助成した。

記

(一) 助成經費 一二二圓也

(二) 獎勵箇所

新站警務段

小城自警村

五常自警村

18. 養鶏獎勵

養鶏の普及獎勵は農山村一般副業として誠に有望視せらるゝ折柄、愛護村に優良種鶏を貸付して實施するは飼育者の福利増進上は勿論養鶏改良に並行して愛護工作上効果大なるものと思料し錦局に於ては左記經費を助成し種鶏を配付した。

記

一、助成金額 五〇〇圓也 一羽單價一圓

二、種鶏の種類及羽數

イ、種 類 白色レグホン

ロ、羽 數 雄三五羽、雌四六五羽 計 五〇〇羽

三、種鶏の配付箇所

模範愛護村、扶輪小學校、局従事員(種畜場員)

19. アンペラ製造講習會

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

錦縣局管内の河北線一帶に繁茂する葦を材料としてアンペラ製造講習會を左記經費により開催し疲弊せる農村の經濟更生を計つた。

講習後愛護村民の手より約七〇〇枚程製作し自家用或は販賣に供し好成績を上げたるに付次年度は積極的獎勵の豫定である。

記

一、講習會場所

イ、盤山愛護區 高家屯愛護村、榆樹堡愛護村

ロ、胡家窩鋪愛護區 寬子段愛護村、胡家鎮愛護村

二、所要經費 一六〇圓也

内 譯

器具費 四八圓

講師手當 一二圓

計 一六〇圓也

20. 副業品評會

副業生産品の向上發達を圖る目的を以て左記經費を各鐵道局に助成し農畜產品評會と併催した。

記

錦縣鐵道局 三五〇圓

吉林鐵道局 三五〇圓

哈爾濱鐵道局 三五〇圓

齊々哈爾鐵道局 三五〇圓

但し齊々哈爾鐵道局は品評會經費を農務科負擔とし右經費を以て寧年に羊毛加工（ホームスパン）の講習會を開催した。

(三) 鐵道愛護村設定事業

(イ) 鐵道愛護村の設置

昭和八年（大同二年）三月一日設立された鐵道總局は建國直後の紊亂せる國內交通機關を統制し秩序ある運行を確立せむとしたが當時は大小種々の不逞の徒が各地に蟠居出沒し警備の手の届かざるに乗じて無謀な危害を交通網に加へるのみか、一般民衆又鐵道に對する認識なく甚しきに到つては却て賊に加擔内通して鐵道の安全を脅かすことがあつた。

斯かる情勢中に在つて、鐵道總局の國策的使命は鐵道を根幹として滿洲國の産業發展と經濟的開發を促進し國民福國防充實の根源を培養せむとするものなる爲一般民衆と鐵道側の一心同體的合作は必要不可欠の急務とされ、茲に民路合作運動の實現が要望されるに至つた。

即ち同年六月鐵道側は軍及滿洲國當局と協議の上、國有鐵道全線に亘つて鐵道愛護運動を起すことに決し、國民大衆には鐵道の眞使命を深く認識せしめると共に物質的にも堅く彼等の實生活を鐵道に結び附け平戰兩時を問はず、「以民護路」「民路合作」の積極的實績を挙げむとする鐵道愛護村の設置を見ることとなつた。

(ロ) 愛路工作と組織

鐵道愛護運動は、鐵道（以下總て自動車路水運路を含む）沿線民衆の鐵道に對する正しき認識の下に民路力を併せて交通路の絶對安全を計ると共に、滿洲國の經濟開發に。ハイオニヤ的な役割を務め、王道立國の聖業に、鐵道は鐵道の持

つ分野に於て極めて積極的な参加をなさむとするものである。斯くの如き重任を有する鐵道愛護村は概ね鐵道兩側約五軒の地帯以内にある村落を總稱し、之等は總て鐵道各驛を中心として一括され愛護區なる一單位を構成し、愛護區幹事には驛長が任命されて全民衆の直接指導者となる。

昭和十年度より、愛路工作の二大根底を構成する鐵道總局愛路少年隊の結成と模範鐵道愛護村の設置が實施された。前者は愛路思想に眼覺めたる農村の青少年層をして潑刺たる愛路運動の中心勢力たらしめ或は果敢なる民衆の一員として種々なる愛路奉仕を行はしめむとするものであり、後者は鐵道保安の上から重要と認められた村乃至比較的産業開發上好條件に恵まれた村を選定して其處に専ら主力を傾注し、産業的にも、愛路工作の上からも他の模範と爲し、之を以て全愛護村中の先驅となし、一般愛護村自力更生の拍車たらしめむとするものである。斯くて愛路思想の浸透は民衆をして期せずして次の如き愛路奉仕を行はしめ、鐵道に對する「以民護路」「民路合作」の實績を挙げつゝある。

即ち

1. 匪情その他交通路保護に必要と認められる情報を蒐集して速に交通路警備の軍警に報告する。
 2. 獻身的に天爲竝人爲の交通路妨害を排除し又鐵道補修其他の愛路奉仕に當る。
- 之に對して鐵道側は鐵道愛護村の文化的開發並福祉増進を計る爲、日滿軍警並滿洲國諸機關の獻身的な助力支援を得て左の如き諸事業を實施するものである。
1. 愛護村大會（春秋二回）其他各種會合並懇談會を開催し種々愛路問題に就て協議し、併せて民路の意志疏通を計る。
 2. 愛路功勞者に對し表彰を爲し、又敬老會の開催、篤農獎勵等を行ふ。

3. 愛路週間愛路運動會等を開催し民衆の愛路精神昂揚を計る。
4. 種畜、種子、樹苗の配付又は貸付其他農業諸技術の改良指導等を爲し産業開發の基礎を築く。
5. 地方的産物の保護又は副業獎勵の爲の各種講習會の開催等を行ひ尙販賣手段の指導を爲す。
6. 愛護村産業視察團を組織し、滿洲各文明都市、農事試驗場、工場等を見學せしむ。
7. 愛路映畫班、演藝班を巡回せしめ啓蒙宣傳を爲す。（特に愛路に關する映畫、演藝を紹介する）
8. 文書刊行物に依り民衆の文化向上を計る、又文盲撲滅運動を實施す。
9. 各種日用品を配給す。
10. 衛生諸施設並施療、施藥、各種災危に對する救濟を行ふ。
11. 慰安廉賣列車の運轉を爲す。
12. 其他特殊地域に對する特殊施設。（模範愛護村に對する農家組合の結成指導、集會所建設等）

(二) 愛護村の現勢

鐵道愛護運動は以上の如く日滿軍民の熱誠なる一致協力の賜として著實なる進展を示して居るが、昭和十二年一月二日現在の統計に依れば、國鐵既設線七、四一四軒、全自動車路線（松花江水路を含む）六、七四五軒を含め、愛護村數三、一九七箇村、愛護村民數推定六、四〇〇、〇〇〇人、愛路少年隊數四二五箇隊、隊員五一、八二三名、模範愛護村數二七箇村を數へ、又鐵道機構一元化に依り併合せられた社線總軒一、一三四軒に附帶せる愛護村八六一箇村、村民推定二〇〇、〇〇〇人を加へ、尙建設途上に在る路線に對しても工事著手以前より愛護村設置に協力し以て建設作業を圓滑ならしめて居る。

今國線並自動車線沿線の愛護村を線別に見れば左表の如くである。

國線沿線鐵道、自動車線愛護村數一覽表

(昭和十一年三月現在)

局別	區別	鐵道沿線		自動車線	
		線別	村數	線別	村數
錦縣局	奉天	奉天	一五六	熱河	一八二
		大鄭	三九	安城	一一八
錦縣局	北票	北票	二一	通城	一九
		錦承	四五	彰德	一六
錦縣局	西奉	西奉	一〇〇	鄭彰	二二
		奉天	四一	彰德	六
吉林局	奉天	奉天	一四五	吉林	一一
		吉林	二二〇	吉林	二六
吉林局	開通	開通	三〇	吉林	一
		佳木斯	七八	吉林	三八
吉林局	圖佳	圖佳	八四	滿南	三〇
		圖佳	五六七	滿南	一一三
平大齊線	齊鄭	齊鄭	一九七		
		平大	三三三		
計		總計	四五一	總計	三三七

局別	區別	鐵道沿線		自動車線	
		線別	村數	線別	村數
齊齊哈爾局	訥河	訥河	二八	齊齊哈爾	二八〇
		北河	六二	齊齊哈爾	
齊齊哈爾局	溫州	溫州	三三	齊齊哈爾	
		白州	一六一	齊齊哈爾	
齊齊哈爾局	京濱	京濱	二二八	齊齊哈爾	
		濱州	六四二	齊齊哈爾	
齊齊哈爾局	北黑	北黑	六一	齊齊哈爾	
		濱州	二〇四	齊齊哈爾	
齊齊哈爾局	拉濱	拉濱	六八	齊齊哈爾	
		濱州	一五八	齊齊哈爾	
齊齊哈爾局	京綏	京綏	一九九	齊齊哈爾	
		綏遠	八三	齊齊哈爾	
齊齊哈爾局	濱洲	濱洲	七七三	齊齊哈爾	
		濱洲	二四三三	齊齊哈爾	
合計		總計	七三〇	總計	七三〇

(三) 愛護村設置の効果

鐵道愛護運動は、嘗て愛護村なるが故に却つて匪賊襲撃の標的となり、延ては村民の怨を買ふが如き結果になりはせぬかと案ぜられたことがあつたか、今日より見る時は、それは全くの杞憂に過ぎなかつたことを實證されるに至つて居る。

即ち匪賊は愛護村の設置された後は決して鐵道沿線に出没し得なくなり、從て線路破壊や列車襲撃等悪性の重大事故は著しく減少し統計的に見ても昭和七年度百軒當り四・三、九年度一・七、十年度三・六、十一年度〇・〇の減少率を示してゐる。

之は勿論日滿軍警の連續不斷の討匪行に依ること云ふ迄もないが、一面又鐵道愛護村設置の效力も見逃し得ない。

尙一方愛護村民の狀態を観るに、村民は愛護村の本質を理解し來ると共に愛路の熱意も頓に向上し、或は匪賊情報網の自發的整備に、各種演習への熱烈なる協力に、線路巡邏の犠牲的奉仕に、今や凡ゆる場合率先、衆に先んじ運動に参加せむとする態度を示すに至つて居る。而も此の傾向は背後地帯に反映して沿線五軒以外の隣接地域より愛護村加入希望者を續出せしめ、縣内全村を舉げて加入希望のもの、村落單獨加入希望のもの等あり、到底最初に於ては豫想だにしなかつた、狀況の現出も正に愛路精神の駭々乎として奥地に浸透しつゝある事實を裏書して居る。

抑此の愛護村運動の眞成果は永續不撓の工作に依り初めて獲得さる可きものであるのに、既に今日著しき效果の認められることは驚異に値すると云はねばならぬ。現在鐵道沿線に於ける匪賊情報は最近その大部分が愛護村民の齎すところのものであつて彼等の一日一信も次第に勵行せらるるに至り一箇月にして平均一萬五千通以上の連絡回數あり中には身の危険を冒しても重大なる情報を速報し數百人の人を救ひ列車を安全ならしめたり、村内に潛入せる匪賊を逮捕若は速報して事件を未然に防いだとか、日滿軍の討伐に生死を越へて協力し天晴れ効果を収めたとか、水害に際し我家を顧みず大擧して鐵路橋梁の防水に従事したとか、或は又愛護村旗の下に村民を糾合しつゝ道路補修に奉仕したとか其の實例は枚擧に遑なく中には愛護鐵路の爲に一命を犠牲にした愛護村長等も現はれるに至つた斯くて昭和十年度愛護村民並愛路少年隊員で表彰を受けたもの、件數にして個人四三七件、團體七二件、人數にして個人四三七人、團體二、三七四人、同十一年度（九月迄）は個人二八一件團體一〇七件、二、七〇五人を算した。斯くの如き現況を觀察する時は鐵道愛護

運動は著實なる發展を辿りつゝあるのみか、滿洲國に於ける特筆すべき大民衆運動の一として日滿融和、王道實現の理想郷を築き上げること成功しつゝあると云ひ得る。

（ホ） 昭和十一年度の愛路工作と鐵道愛護村の前途

鐵道愛護運動は前述の如く昭和九年に民衆の中に根を下すことに成功し、同十年度には既に基礎工作の域を脱したのであるが、更に同十一年に至つては、既往の經驗と將來への見透しとを併せ、益運動を具體化し一段と愛路工作の飛躍を計る爲に大略次の如き事業を施行した。

A. 模範愛護村の指導

1. 農家組合の創設—模範愛護村振興強化の要訣は民路合作より漸次村民の自發的向上を誘導するにある。故に農家組合を全模範愛護村に指定し農村振興強化に關する凡ゆる事項の指導、計畫、連絡を實施した、即ち耕作組合、販賣組合、金融組合等は其の現れである。

2. 共作團設定—經濟的には各模範愛護村の共同施設に要する村有基金を得る爲に、精神的には擧村一致の共同精神を涵養し且現地指導員指導の下に合理的農法の技術を習得せしむる試作團とする爲に全模範愛護村に五天地乃至十天地の共作團を設定した。（昭和十一年度の借地料並流通資本は各鐵道局負擔）

3. 集会所建設—模範愛護村の産業、福祉、教育其の他各種目的に對し共同的に使用する爲、昭和十一年度は十三箇所に建設した。

4. 農畜產品評會開催—農畜産の改良増殖を計り併せて村民に親しく其の趣旨を徹底せしむる爲に年一回各模範愛護村に於て開催する事となり、昭和十一年度は十一月中に實施した。

B. 愛護村副業指導

容易にして有利なる農家副業を奨励し村民の福祉を増進せしむる目的を以て、昭和十一年度は奉山線に杞柳細工、皇姑屯に人造バナマ細工、四平街、白城子にホームスパン、女子手藝、章黨に高粱掃木、吉林管内に木炭製造、山葡萄採取等の講習其の他を実施した。(前節参照)

C. 冬季愛護村塾開設

冬季農閑期に於て愛護村民及愛路少年隊員を主対象として之に滿洲國民並愛護村民としての公民的自覺を促し同時に新時代の農民としての進歩せる農事知識を普及し、以て滿洲農民新生活運動の先驅たらしむる目的の下に、昭和十一年度は約三百箇所に開設十一月より講習を開始した。

D. 愛路農村劇團組織

愛路思想普及徹底、農村娯樂の自給自足を目的に昭和十一年度は四箇所に農村劇團を組織し總局指導の下に夫々公演を開始した。

E. 愛路少年隊工作

1. 一般演練の徹底—愛路少年隊に對し一段と技術演練、學科演練、奉仕演練に主力を注ぎ、愛路少年隊精神の涵養に務め、一方郷土産業の開發を促す爲實習農園の經營、副業の奨励等を鋭意實施した。
2. 愛路少年隊組織の強化—演練效果の發揮と素質の向上を計る爲、進級制度、班制度等を設け尙指導者網の確立を計る爲昭和十一年度は滿人指導者に對し二回、日人に對し一回講演會を開催、此の外各站を中心に任意の愛路少年分隊長講習會を開催した。

F. 一家一人動員演習

愛護村一家一人を動員して天災地變匪襲其の他有事の際鐵道の保全、村内治安維持の任に當る手段方法を演練し併せ

て團結心の養成、國防思想の普及、日滿共同防衛觀念の培養に努め平戰兩時に於ける「以民護路」の實を擧げる目的の下に昭和十一年度は牡丹江、吉林兩管内に於て實施した。

特色ある工作は以上の如くであるが其の他全般の愛路工作に亘り精彩ある活動が行はれたのである。

顧るに新線の引續、舊北鐵線の接收、滿鐵社線併合等により總局經營線は鐵道自動車水路路線を併せ一萬四千軒を超え愛護村數又三千八百餘箇村に増加せる現狀は益々本運動の重要性を加へたものと謂ふべく、其の成否は單に鐵道の保全を左右するのみか滿洲帝國建設の步調に一大影響を及ぼすものとして注目せられるに至つた。

今や八百餘萬の愛護村民を擁せる本運動は、鐵路保全、國防治安の確保、建國精神の擴充、日滿一體觀の強化、農村經濟の向上等の大理想を達成すべく、日本軍部、滿洲國當局の一體的協力支援と關係諸機關との緊密なる提携を得て民路戮力、一意目的貫徹に邁進しつつあるのである。

(四) 移民事業

(イ) 鐵道自警村設置の主旨

鐵道總局は鐵道の自衛、沿線の農事開發及邦人の對滿移民助長の見地より、昭和十年國線沿線六箇所に在滿軍隊除隊兵を以て組織せる鐵道自警村(以下自警村と稱す)を設置し、昭和十一年更に七箇所を、昭和十二年十箇所を増設した。總局の經營する線路は逐年延長され危險區域も亦擴大され、之に對しては日滿軍警及總局の警備機關協力し安全の確保に努力しつつあるも現今の匪賊はゲリラ戰法を用ひて出沒し之の對策としては地方事情に精通する自衛式警備機關を要所に散在せしむるを必要とし又一朝有事の折有力にして信頼し得る郷軍の存在は鐵道自衛上は因より第一戰の活動をして後顧の憂なからしむる爲に甚だ緊要であり自警村をして斯る任務に當らしめやうとして指導して居る次第である。

更に産業上より觀れば沿線農業開發は極めて保守的なる滿人農家を對象とするため各種の助長指導も進歩的なる農業經營の介入を俟たねば容易に普及徹底の實を擧げ難く、自警村が進歩的農法を採用して附近農村に實際上の模範を示す事は沿線農業開發上多大の實益と便宜とを提供するものとあり、更に邦人の對滿移民の必要なるは日滿兩國の國策上議論の餘地はないが、其の實際の方策に至つては未だ必ずしも確信を有する迄に至つて居らぬ。現在自警村が廣く全滿各種の營農方式を以て生長しつゝあるのは、邦人移民の方策に極めて有用なる資料を供し之の成功は日本人移民の助長に貢獻する處尠くないのである。

要之自警村は鐵路自衛と沿線農業開發の使命とを双肩に擔ふ特色ある存在であり、我國の先例に求むれば、北海道の屯田兵制度に稍類似する。

(ロ) 農業經營指導の目標

自警村は警備の重大任務を有する爲、初年度より農業經營の安定に進み得ると言ふ譯のものではなく、第一年に於ては現地の農業の大體を了解せしめ、二年度、三年度に於て將來の計畫を見透して樹立させ、第四年度より農業に依つて自活し得るに至る事を目標とする。

(ハ) 昭和十年度第一期自警村設置箇所及經營の標準

設置箇所名	線	名	經營
女兒河	奉	山	果樹蔬菜を主とす
黒山	奉	吉	普通作物を主とし水田を配す
口前	同		水田普通作物混合とす

綏化	濱北	線	普通作を主とし肥豚豚を配す
泰安	齊北	線	普通作を主とし養豚飼羊を配す
白城	齊北	線	飼羊養豚を主とす

初年度に於て右六箇所を選定に當つては自警村設立の趣旨より見て警備上各線の要點たるべき重要箇所たる事と、將來沿線各地に設置さるべき自警村の經營形態の指針となるべきものあるを以て各線の農業上の特性を捕ふるに都合よき場所なる事に主眼を置いた。

(ニ) 昭和十年度入村の経緯及現状

昭和十年度は在滿兵の除隊遅れ、豫定通り春季耕作に間に合ふ様に入村し得たる自警村は女兒河、黒山頭、綏化の三村にして、口前、泰安、白城子は六月になつて漸く入村の運びとなつた。従つて三月末入村の分は豫定通りの耕作を行つたが六月初入村の分は自家用秋野菜の蒔付をなしたるに過ぎなかつた。

1. 女兒河自警村

女兒河自警村は三月中旬に土地買収其の他の手配を終へ、三月末日指導員引率の下に入村、直に農耕に従事した。當村は果樹蔬菜の栽培を主體とするも果樹は苗木育成の關係から入村年度に栽植し得ず、蔬菜に主力を集中し、十一年春に果樹の栽植を完了した。

初年春は入村早々の事であり、且滿人農家の畑を其の儘引受けた爲、高粱畑、粟畑整理の必要があり、又肥料も充分準備がなかつたので、春野菜は自家用及市場の状況を試る程度の小規模作付に過ぎず、秋野菜から本格的の作付を行ふこととした。然し普通作物、飼料作物等は豫定通りの作付を實行した。先づ大體の所、初年度としては豫想以上の進行を示したと言へる。唯初めて用ゐる在來農具耕馬使用の手配等の爲、最初は相當の困難を感じたが秋頃には一人前

の農家としての自信を得たもの、様である。或者は蔬菜灌漑用水井戸を新設し、或者は風向を研究し風車を工夫する等興味ある傾向を示しつつある。
 作付面積は昭和十年に限り村員一名を選び將來の經營面積を全部耕作せしめ、他村員の目標たらしめんと試み、他の九名は四町七反宛を經營した。即ち次表の如くである。

作物名	標準經營者	其の他	作物名	標準經營者	其の他
大豆	一・〇〇〇	〇・五〇〇	牛蒡	〇・〇五〇	〇・〇五〇
陸稻	一・〇〇〇	〇・五〇〇	夏菜	〇・〇二六	〇・〇二六
粟	一・〇〇〇	〇・三五〇	白菜	〇・〇一〇	〇・〇一〇
玉蜀黍	一・〇〇〇	〇・九〇〇	瓜菜	〇・〇一〇	〇・〇一〇
小豆	〇・三〇〇	〇・〇〇〇	越瓜	〇・〇三三	〇・〇三三
高粱	〇・七〇〇	〇・〇〇〇	茄子	〇・〇一〇	〇・〇一〇
落花生	〇・〇五〇	〇・〇五〇	胡椒	〇・〇一〇	〇・〇一〇
棉花	〇・二〇〇	〇・二〇〇	蕃茄	〇・〇一〇	〇・〇一〇
ルンサ	〇・六八〇	〇・六八〇	藍菜	〇・〇五〇	〇・〇五〇
馬鈴薯	〇・一〇〇	〇・一〇〇	葱	〇・〇三〇	〇・〇三〇
南瓜	〇・〇五〇	〇・〇五〇	秋菜	〇・〇一〇	〇・〇一〇
胡瓜	〇・〇二六	〇・〇二六	秋菜	〇・〇一〇	〇・〇一〇
夏根	〇・〇二五	〇・〇二五	蒺藜	〇・〇二〇	〇・〇二〇
大豆	〇・一〇〇	〇・一〇〇	計	七・四九〇	四・七五〇

次に標準經營者及一般經營者に付其の收支を示せば次の如し。

農産物	標準經營者	一般經營者
農産物 收入	八九四・一〇	三九五・〇〇
農産物 支出	五七八・五〇	三二二・六九
差引	三一五・六〇	八二・三一

備考

初年度經營はルーサン作付等の如く經費を多く要し而も其の年度收入とならないものがある爲收支状態は良好と言ふを得ない。

2. 緩化自警村

本自警村は三月末指導員引率下に入村し直ちに耕作に従事するを得た。本村は普通作を主體となし、之に肥臘豚を配する計畫である爲、作物の選定も初年度より此の點を考慮して行つた。
 然し乍ら養豚飼料の手持ちなく又秋季に豚を入れるのは北滿の事情に適應しない爲、十一年度に入れることとなし、初年度は飼料耕作及販賣用普通作に主力を注いだ。
 本村も又最後の經營目標たる面積を一人に經營せしめ、其の他の者には小面積を割り當てた。次表の如し。

作物名	標準經營者	一般經營者	作物名	標準經營者	一般經營者
大豆	三・九	一・〇	粟	四・〇	〇・七
小麦	四・〇	一・〇	燕麥	〇・五	〇・三
蜀黍	三・五	一・〇	大麦	一	〇・五

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

小豆	〇町二	〇町七	二四四
ルイサン	一〇〇	〇町五	〇町五
計		一七六	六二

次に標準經營者の收支状態を示せば次表の通りである。

農産物収入	一、一三〇・六六圓
農業經營支出	九〇八・八九
差引	三二一・七七

備考

初年度經營はルーサン作付等の如く經費を多く要し、然も年度内収入とならざるものあり、更に經營者は協力者たる妻子なく公務甚だ多く勞力の不足を來たし、常備、臨時備に依存した爲豫想外の支出を見た。

3. 黒山頭自警村

三月末入村せるも不幸水害、火災等の災危相續き、其の上土地面積も過少なりし爲初年度の經營としては見る可きものがなく、二年目より經營の基礎を定めた。

其の他六月入村の自警村は殆んど耕作を行ふに至らざりし爲省略する。

(ホ) 昭和十一年度設置自警村

十一年度は蛟河(京圖線)、小城(拉濱線)、雙城堡(京濱線)、山市(濱綏線)、安達(濱洲線)、龍鎮(北黑線)、柴岡(京白線)の七箇所に設置し何れも四月中旬入村を完了し、春季耕作は豫定通り完了するを得た。

(ヘ) 昭和十二年設置自警村

昭和十二年度の第三期入植は、泡子(大鄭線)、靠山屯(奉吉線)、明城(奉吉線)、四家房(拉濱線)、東京城(圖佳線)、寧安(圖佳線)、五家(京濱線)、阿城(濱綏線)、白家(濱北線)、訥河(訥河線)の十箇所に行はれ、所定の營農方式に従つて耕作に著手して居るが、家族の入村は昭和十三年度春にならう。

次に第一期より第三期迄の自警村構成一覽表を掲げる。

鐵道自警村一覽表(昭和十二年九月現在)

局名	村名	村員	家族	合計	農業組織及面積(二戸當目標)
齊齊哈爾	白城子	一一	二四	三五	畜養、普作 畑一八町
錦州縣	黑山頭	一七	三〇	四七	普作、特作 畑一三町
吉林林	口前	一〇	三四	四四	水田、普作 畑八町、田二町
哈爾濱	綏化	一〇	一六	二六	普作、養豚 畑一八町
齊齊哈爾	泰安	一一	一四	二五	普作、養豚 畑一七町
錦州縣	女兒河	一〇	二〇	三〇	果樹、蔬菜、特作 畑八町
計	六箇村	六九	一三八	二〇七	
吉林林	柴岡	一一	二二	二四	普作、養豚 畑一五町歩
哈爾濱	雙城堡	一三	一五	二八	普作、蔬菜 畑一〇町歩
吉林林	小河	三〇	三一	六一	水田、普作 畑七町、田三町
吉林林	蛟河	三〇	二九	五九	水田、普作 畑八町、田二町
牡丹江	山市	二二	二八	四九	水田、普作 畑八町、田二町

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

合 計	(度年二十和昭) 期三第										(度年	
	齊 齊 哈 哈 哈 牡 牡 吉 吉 吉 錦	齊 齊 哈 哈 哈 牡 牡 吉 吉 吉 錦	齊 齊 哈 哈 哈 牡 牡 吉 吉 吉 錦									
計	訥 爾 爾 爾 丹 丹 林 林 林 縣	訥 爾 爾 爾 丹 丹 林 林 林 縣	訥 爾 爾 爾 丹 丹 林 林 林 縣									
二三箇村	一〇箇村	一〇箇村	一〇箇村									
四二〇	二二五	二二五	二二五									
二八五	二二五	二二五	二二五									
七〇六	二二五	二二五	二二五									
	普作、畜産	普作、畜産	普作、畜産									
	畑一五町	畑一九町	畑一〇町									

第六項 土地經營事業

鐵道總局所管の土地は創業當時滿洲國よる委託されたる鐵道港灣及一切の附帶事業用地を主とし其の後業務の必要上買収したるもの並昭和十年三月二十三日滿ソ間に於て締結せられた「北滿鐵道に關するソヴェト社會主義共和國聯邦の權利を滿洲國に讓渡する爲の滿洲國ソヴェト社會主義共和國聯邦間協定」第一條及第二條に依り新に滿洲國政府の完全なる占有及

單獨の管理下に置かれるに至つた土地所謂北滿鐵道附屬地中直接鐵道に必要な土地として其の經營を委託されたる土地及昭和十一年十月滿鐵機構一部改革に伴ひ新に總局所管となつた元北鮮管理局所管用地並元鐵道部所管の社線鐵道用地とであり之が面積は其の所在が廣範圍に亘り且治安の維持不完全なる地方もあり充分なる實測を爲すことを得ず從て直に正確なる數字の摘出は不可能であるが概略左記の如く其の總面積は十億七千平方メートルに及び更に舊北鐵接收用地に對し約十六萬平方公尺の面積擴張が計畫され之が實現すれば大略十二億三千平方メートルに及ぶこととなる(但し元北鮮管理局所管土地及運輸處關係土地を含まず)。

國線關係土地鐵道局別面積表

錦縣鐵道局	八六、九六五、七六一 ^{平方公尺}
吉林鐵道局	三八、二六九、九七九
哈爾濱鐵道局	三八、九二七、一六二
齊齊哈爾鐵道局	七六、四七六、一六四
牡丹江鐵道局	三七〇、〇一六、四六七
計	六〇〇、六五五、五三三

元鐵道部所管土地種目別面積表

鐵道用地	八六、七二二、四一四 ^{平方公尺}
線路用地	二四、〇九三、九一二、二九
停車場用地	二七、四七五、七七七、四一
石山用地	二、〇九二、二九四、四〇
雜用地	

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

港灣用地

港灣用地
 施設用地 一、七二九、八六四^{平方}米
 埋立用地 三六〇、〇〇四、一六
 計 一二〇、九八四、二六七、四四

北鐵接收用地種目別面積表

線別	種別		第一鐵道用地	第二鐵道用地	第三鐵道用地	石探 山河川	附帶用地	線路用地	計
	別	種							
哈爾濱	第一鐵道用地	第二鐵道用地	一〇八、九七五 ^{m²}	四六、七九 ^{m²}					
京濱	第一鐵道用地	第二鐵道用地	六、七七八 ^{m²}	二〇、五五七 ^{m²}	一、八二四 ^{m²}				
濱州	第一鐵道用地	第二鐵道用地	二、七八八 ^{m²}	六、四四一 ^{m²}	四、五五五 ^{m²}	八、三九三 ^{m²}			
綏遠	第一鐵道用地	第二鐵道用地	一、六四〇 ^{m²}	六、八八八 ^{m²}	二、四九三 ^{m²}	九、六二四 ^{m²}			
合計	第一鐵道用地	第二鐵道用地	一、六五四、五三三	一、九八〇、二八四	八、三六八、八八四	一、七九二、八二五	三、三二四、八八三	一、六三三、〇〇九	三、四六六、八四三

北鐵接收用地種目別擴張計畫面積表

線別	種別		第一鐵道用地	第二鐵道用地	第三鐵道用地	石探 山河川	附帶用地	線路用地	計
	別	種							
哈爾濱	第一鐵道用地	第二鐵道用地	八、四三三 ^{m²}	八、二七三 ^{m²}					
京濱	第一鐵道用地	第二鐵道用地	六、四四四	九、八二三					
濱州	第一鐵道用地	第二鐵道用地	四、二六九	一、五四二、五五一					
合計	第一鐵道用地	第二鐵道用地	一、九四九、二〇八	一、〇〇七、〇五					三、九五六、二六三

總局に於ける土地經營は鐵道の機能と相俟つて滿蒙の開發に缺くべからざる施設の一にして延いて邦人の滿蒙に對する經濟的發展の基礎たるに外ならず尙又滿洲の鐵道が開拓鐵道たるの使命を有する所から之が經營方針も自ら規定せられる處にして其の目的は國家の伸展に資すると共に鐵道業務それ自體の發展を期するにある。從て土地の取得、貸付、處分に當りては充分國家產業政策との協調を要するものたるや勿論にして國家の移植民事業等に對しても出來得る限り積極的援助を與へ必要と認むる場合は土地を買收し無償又は殆ど無償に近き料金を以て之が貸與に應じ一方土地の開發經營に當らしめて居る。而して之が買收實績に付見るに左記の如く總局創業當初より年々増加の傾向にある。

買收件數調表

局別	種別		局宅用地	鐵道用地	耕地及苗圃用地	自警村用地	其他の用地	合計
	年度	別						
錦縣鐵道局	昭八	八	九一〇一一	八	九一〇一一	八	九一〇一一	八
吉林鐵道局	昭八	九	九一〇一一	八	九一〇一一	八	九一〇一一	八
哈爾濱鐵道局	昭八	九	九一〇一一	八	九一〇一一	八	九一〇一一	八
齊齊哈爾鐵道局	昭八	九	九一〇一一	八	九一〇一一	八	九一〇一一	八
哈爾濱水運局	昭八	九	九一〇一一	八	九一〇一一	八	九一〇一一	八
牡丹江鐵道局	昭八	九	九一〇一一	八	九一〇一一	八	九一〇一一	八
合計	昭八	九	九一〇一一	八	九一〇一一	八	九一〇一一	八

第一部 鐵道總局農事施設及農事業績

買收價格調表

局	局宅用地			鐵道用地			耕地及苗圃用地			自警村用地		
	昭和八年	九年	十年	八年	九年	十年	八年	九年	十年	八年	九年	十年
錦州鐵道局	一五,一〇六	三〇,八四四	七九,六〇三	一三,六三六	—	—	—	—	—	—	—	—
吉林鐵道局	—	四九,七〇四	九三,七五九	一七,五〇九	—	—	—	—	—	—	—	—
哈爾濱鐵道局	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵齊齊哈爾局	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
哈爾濱水運局	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
牡丹江鐵道局	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一五,一〇六	三〇,八四四	七九,六〇三	一七,五〇九	—	—	—	—	—	—	—	—

買收面積表

局	其他用地			總計		
	八年	九年	十年	八年	九年	十年
錦州鐵道局	六四,二六九	六四,四〇〇	一五,一〇六	六四,二六九	六四,四〇〇	一五,一〇六
吉林鐵道局	三三,九六〇	三三,二八三	一五,七五三	三三,九六〇	三三,二八三	一五,七五三
哈爾濱鐵道局	—	—	—	—	—	—
鐵齊齊哈爾局	—	—	—	—	—	—
哈爾濱水運局	—	—	—	—	—	—
牡丹江鐵道局	—	—	—	—	—	—
合計	九八,二二九	九七,六八三	三〇,八五九	九八,二二九	九七,六八三	三〇,八五九

に限り而も會社財産保存上且會社業務遂行上支障なき場合に限り需要に應ずるところの純鐵道用地と夫れ以外の土地とに大別することが出来る。

純鐵道用地は更に停車場用地、線路用地、埠頭又は港灣用地の三種に分類することを得べく之が取扱に就て國線に於ては昭和九年に運輸處關係土地及建造物貸付内規を制定し専ら運輸處に於て又元北鮮管理局及元鐵道部に於ては夫々北鮮管理局所管土地貸付規程同細則、鐵道部所管土地建造物貸付内規を制定し管理局及鐵道事務所に於て各所管土地の管理貸付を行つて居た。

純鐵道用地外の土地は之を苗圃用地、造林試驗所用地、造林用地、農事試驗場用地、種畜場用地、自警村用地、住宅用地、貸付用地に大別することが出来る此の中住宅用地（一、三五〇、一四三・五〇平方米）及一般貸付用地（三二二、八〇一、三一九・一八平方米）を除く他の用地は多くは産業助成の目的に利用せられるものにして其の面積は左記の如く五一、六八三、八五四・一四平方米である。

苗圃用地	二、四三四、三〇〇・〇〇平方米
造林試驗所用地	一、二四五、四〇〇・〇〇同
造林用地	二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇同
農事試驗場用地	九、九二二、〇九〇・〇〇同
種畜場用地	一、二二〇、五一六・五〇同
自警村用地	一四、八六一、五四七・六四同
計	五一、六八三、八五四・一四同

右表に依て看るに自警村用地は合計面積の約三十パーセントに當り相當重要な地位を占めて居るが之が所以は自警村經營

が産業政策上の移植民事業の一助としての役割を演ずる點にあるも之等一般の自由移民型體とは幾分趣を異にし自警村が鐵道沿線の治安の維持及延いては鐵道夫れ自體の警備としての目的を多分に有する點にある總局としても之が經營は廣義國策遂行を援助し他面に於て鐵道經營の圓滑を計り得る點より益重視せらるるに至るべく加ふるに其の所在は左記の如く全滿各地に散在し着々と其の成果を納めつつある現状より見て同時に將來の産業開發に大なる期待をかくる所以もここにありと謂ふことが出来る。

自警村用地所在別面積表

奉天	五八八、八九〇・五二
黑山頭	一、八〇三、二二〇・〇〇
女兒河	一、一二四、七九〇・〇〇
口前	一、〇一八、五五五・九六
飲馬河	一、二二二、六七二・〇〇
五常	一、七二四、二四五・五四
綏化	一、八一二、三七五・四三
泰安	一、七九九、九九五・三九
訥安	一、八〇四、四九二・八〇
白城子	一、九七四、三〇〇・〇〇
計	二四、八六一、五四七・六四

一般貸付用地は更に之を建物及其の附隨の用に供する宅地と農耕及樹木栽植の用に供する耕地と前記二目的以外の用に供す

べき土地とに分類し之が取扱に關しては昭和九年に鐵道總局土地及建造物貸付規程並同事務取扱規則を制定し宅地に對しては近來都市の發展に伴ひ土地需要の増加が必然的に大資本家の土地獨占到依る利益壟斷の弊を防ぐと共に國家都市の健全なる發展に對する障礙を未然に防止すべく原則として一區劃貸付主義を採用し特別の事情ある場合の外一四面積五千平方メートル以上の借受を許さない。併し右の制限範圍内にして且貸付期間二十箇年以内ならば居住、營業等使用目的の如何を問はず自由に之が使用を爲さしめ又耕地に對しては貸付期間を一箇年更新制に依る短期貸付を行ふも地方開發の見地より宅地の如く面積に何等の制限を設けず之が必要に應じ尙又雜地に對しては土地の位置使用目的等に依り宅地又は耕地に準じ概ね短期に貸付くる等大體に於て前述の如き經營方針に基き土地の利用を爲さしめて居る。

而して之等用地の貸付方法中最注目すべきは貸付を短期間暫行的に貸付くる暫租と相當長期間永續的に貸付くる永租とに分つて居ることである。

暫租は其の性質法律的に看て貸借と何等變るところなきも永租は即ち貸付期間が民法の貸借期間の限度二十箇年を超えて三十箇年なること所定の建築完了し永租執照の交付を受けた後は貸與人の承認無しに自由に借地權を讓渡し其の他の權利をも設定する事を得ること等に依り單なる貸借に非ずして地上權を設定すべきものと謂ふことを得べく且從來のものにありては殆ど所有權と同一に看做されて居る。而して借地に就き土地の使用收益の點のみより之を觀察するときは滿鐵の土地建造物貸付規程と同様貸借規定のみとし新に貸借即ち暫租の外に永租を認める要なきも而も規程制定に當りては滿鐵の土地建造物貸付規程を基礎とし専ら手續の簡易化を計りたるにも抱らず尙且永租を認めざるを得ざりしは従前よりの慣習と次の如き諸事情の存したるに依るものと謂ふ事を得べく之等の事情は滿洲に於ける土地事情の複雑化を物語るものである。即ち従前舊鐵路局時代市場地等に於て永租地又は永業地の名稱を以て永久貸付を爲したる土地あり且滿洲國人の間に在りては土地の貸借に關し永租暫租の稱呼を用ふる舊慣存したるに鑑み一般の理解を容易ならしむる爲に此の名稱を踏襲したの

であり尙又暫租永租兩契約が借受人の心理に及ぼす精神的効果（就中相當巨額の固定資本を投下すべき企業の用地借受に對する効果）及借地權を金融に供する上の便否得失に至りては到底兩者を同一視し得ざるべく又日本人は由來土地を愛惜するの觀念絶大にして他に冠絶するものあり條約上土地の取得は單に商租權を得るに過ぎざる状態にあり而も滿洲國成立前は幾多の障礙ありて商租權の取得も意の如くならざる等往時邦人間に於て土地所有權の認められざる時代の土地所有の便法として多くの需要者を有し且滿鐵規則中安奉奉天及新京の三地の土地建物特別規則を見るに土地貸付に對しては特に借地券を交付し實質的に一種の地上權的效果を認めて居た事情等よりして永租の存廢は特殊の考慮を必要としたのである。

而して規程制定に當りて上記の諸事情より永租の重要性を考慮し且規程改廢の前後に於て土地借受人の取得し得る權利に著しき差異懸隔を生ずるを免れざる事情もあり特に暫租の外に永租を制定したのであるが一般滿人と同様土地所有權の認められるに至りたる今日斯種借地方法を採用すべき要を認めず實際に於ても最近は一箇年に一件乃至二件の貸付を見るに過ぎない。

次に既貸付土地に付貸付狀況を見るに左記の如く（但し元北鮮管理局所管元鐵道並所管及北鐵接收の用地並運輸處關係の分を含まず）貸付件數七、四三五件其の面積二〇、七一六、六八九平方米、料金議定年額一六三、九二三圓に及び金融情勢或は土建界の推移等一般的經濟狀況の變化に依り幾分の消長はあるが年々増加の傾向にある。

種別土地貸付件數表

局別	種別	年度	宅地	耕地	雜地	計	比較
錦縣鐵道局	昭和一〇年度	二四八		一七	二六〇	減	一〇二
錦縣鐵道局	昭和一〇年度	二五二			二五二		
吉林鐵道局	昭和一一〇年度	一〇四		三	一〇七	增	七
吉林鐵道局	昭和一一〇年度	一〇四		三	一〇七		
							二五七

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

計	哈爾濱鐵道局		齊齊哈爾鐵道局		牡丹江鐵道局	
	昭和 一〇年度	昭和 一一年度	昭和 一〇年度	昭和 一一年度	昭和 一〇年度	昭和 一一年度
計	一八三三	二一六五	四三三	四三三	一〇九	一〇九
同	同	同	同	同	同	同
計	二五八	二五八	二五八	二五八	二五八	二五八

土地種目別貸付面積

種別	地 宅		作 耕		地 雜	
	比	昭 和 一〇 年 度	比	昭 和 一〇 年 度	比	昭 和 一〇 年 度
錦縣鐵道局	△	三二二,七九	△	二二,五六三	△	三,五八四
吉林鐵道局	△	三,七〇三	△	二,七〇三	△	六,〇〇〇
哈爾濱鐵道局	△	三,二八九〇	△	三,八六六	△	一,〇〇〇
齊齊哈爾鐵道局	△	八,〇〇〇	△	一,〇〇〇	△	一,〇〇〇
牡丹江鐵道局	△	一,〇〇〇	△	一,〇〇〇	△	一,〇〇〇
合 計	△	七,一八九〇	△	一〇,一六六	△	一〇,〇〇〇

料金議定年額表

種別	總 計	
	昭 和 一〇 年 度	昭 和 一〇 年 度
錦縣鐵道局	五九四,三三〇	三,二六六
吉林鐵道局	二,三三〇,八〇	四,四六六,六〇
哈爾濱鐵道局	五九,五六七	一,二九八,七七
齊齊哈爾鐵道局	二,八三三,九七	八,四〇〇,六六
牡丹江鐵道局	一,九二六,九	六,六四四,六
合 計	一,七〇八,六六〇	二〇,七六六,九

第二部 鐵道總局農事施設及農事業績

種別	地 宅		作 耕		地 雜		總 計
	比	昭 和 一〇 年 度	比	昭 和 一〇 年 度	比	昭 和 一〇 年 度	
錦縣鐵道局	△	三,七五五	△	三,三三八			一,六二二
吉林鐵道局		一,九〇三		一,二〇九			八,二四三
哈爾濱鐵道局		二,一八三		九,五六六			四,一六七
齊齊哈爾鐵道局		五,九九九		一,五三四			一,五二二
牡丹江鐵道局		一,九二六		六,五二二			一,六〇一
合 計		一五,〇〇〇		一五,〇〇〇			一五,〇〇〇

昭和十三年六月廿七日印刷
昭和十三年七月一日發行

著作兼
發行人

大連市桃源臺八六番地

山

岸

守

永

印刷人

大連市大江町二番地

荒

木

猪

象

印刷所

大連市大江町二番地

株式會社

日

清

印

刷

所

發行所

南滿洲鐵道株式會社

142
942

14.2
942

終